

広報

しおばら

12

2011/DECEMBER
No.81

Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine

「げんき」と「やすらぎ」のさとやま文化都市



「庄原焼き」優勝!



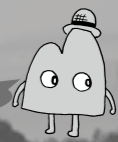
県内でご当地お好み焼を広める8団体で1番を決めるイベント、第2回広島てっぱんグランプリが10月30・31日の2日間、ひろしまフードフェスティバル中央公園会場で開催され、昨年に続き出場した「庄原焼き」が、準優勝だった昨年の雪辱を果たし見事優勝を飾りました。



- 2 特集 根付け着地型観光～さとやま博が観光を変える～
- 14 超高速情報通信網整備の検討を進めています
- 18 ジェネリック医薬品への切り替えで医療費負担の軽減を
／庄原市暮らしの便利帳発行へ
- 19 三楽荘の運営状況／安心・安全な毎日のために
- 20 健康広場「冬の健康」

- 21 三上さんがトライアスロン世界選手権大会出場
- 22 市政トピックス
- 24 カメラレポート
- 29 お知らせ

特集



閉幕

庄原さとやま博

みつけ体験・「さい」発見!

根付け地型観光

さとやま博が～庄原の観光を変える～



昨年10月3日に幕を開け、1年2か月にわたり開催してきた「庄原さとやま博」が11月30日、幕を閉じました。

この間で、庄原市の観光がどう変わったのか。入り込み客数や経済効果は。さとやま博がもたらした影響とは。そして今後の庄原市の観光はどうなっていくのか。

今月は、さとやま博を振り返るとともに、庄原市の「着地型観光」を考えます。



さとやま博は、市全域を博覧会場と見立て、地域の魅力を連携させながら、周遊型観光・通年型観光の仕組みをつくるというものでした。

そして、市民の皆さん自らの発想で、里山の地域資源を活用した新たな庄原市の楽しみ方をつくり、それを観光資源として商品化し売り出す、儲けるための仕組みづくりを目指しました。

※着地型観光：着地（旅行）先の地域が主体となって旅行商品を企画して発信し、地域に直接観光客を呼び込んで、ご当地性の高い観光素材を提供する旅行形態をいう。



「さい」発見をキーワードに進めてきたさとやま博。この事業で行ってきたものは大きく分けて①イベント②バス③儲ける④PRの4つ。

その中でも儲ける事業をさとやま博の柱に掲げ、取り組みを行ってきました。

| 開催年 区分 | H21 | | H22 | | H23 |
|----------------|------|---------|------|---------|---------|
| | 4~9月 | 10~3月 | 4~9月 | 10~3月 | 4~9月 |
| 体験メニュー | 0 | 0 | 0 | 414 | 735 |
| さとバスツアー | 0 | 25 | 82 | 9 | 18 |
| ひろでん100バスツアー | 344 | 691 | 75 | 476 | - |
| バス造成支援 | 486 | 1,982 | 825 | 2,279 | 1,647 |
| さとやま博企画、連携イベント | 0 | 243,172 | 0 | 291,824 | 11,240 |
| 合計 | 830 | 245,870 | 982 | 295,002 | 13,640 |
| | 前年比 | | +152 | +49,132 | +12,658 |

※H21年4~9月は観光キャンペーン事業および既存イベント

| 区分 | 4~9月 | 10~12月 |
|-----|-----------|---------|
| H21 | 1,673,980 | 682,869 |
| H22 | 1,560,249 | 741,654 |
| 差 | -113,731 | 58,785 |

※広島県観光客数の動向調査による

| | |
|----------|----|
| 企画イベント | 7 |
| 秋の連携イベント | 9 |
| 冬の連携イベント | 8 |
| 計 | 24 |

01 個別の事業・イベントを集約・発信し一体感を醸成

イベント・PR事業

全市民的な庄原の観光を前面に打ち出し取り組みを進めてきた「さとやま博」は、庄原市観光公社設立準備室を中心に推進してきました。

これまでの観光事業やそのキャンペーンは、各地域がそれぞれ行っていたこともあり、市の観光としての一体感は乏しく、その醸成が課題となっていました。

そうした中、観光公社設立準備室が本格的に機能し始めたことにより、インフォメーション機能が充実。既存イベントを季節単位にまとめ、各地域で展開されるさまざまな事業をさとやま博連携事業という一つの観光枠として発信し、より高いPR効果を発揮。そこから徐々に一体感が得られ始めてきました。

夏の新しい観光を提案した「庄原eco涼キャンペーン」

「庄原＝避暑地」というイメージをもってもらおうと、この夏、キャンペーンを展開。滝巡りやキャンプ場、トレッキング(山歩き)などの紹介とあわせ、山ガールを全面に打ち出しました。

比婆山連峰を中国地方の山ガールの聖地。にすべく、活動的な30~40代の女性をターゲットに山ヨガ体験など新しい夏の楽しみ方を提案。

広島登山研究所の今村みずほさんをアドバイザー、テレビで活躍中のフリーリポーター井上恵津子さんとフリーアナウンサーの岡佳奈さんを「しょうばら山ガール」にそれぞれ起用し、登山の魅力、山のすばらしさをPRしました。

これらの相乗効果により、メディアで取り上げられる機会が増え、お金をかけない広報展開を行うことができました。観光公社設立準備室は、このキャンペーンでのメディア露出の広告換算額を1200万円以上と試算。認知度・好感度アップによる若い世代の誘客など、イメージ戦略で一定の成果があったと分析します。

利用客が増加しキャンペーン効果を実感



山ログジ 吾妻山 村人代 吾妻山 支那人行 吾妻山 支配人 岩脇 純 さん

市外の若い人にとって庄原は「備北丘陵公園のある町」程度しかイメージがなかったと思いますが、eco涼キャンペーンによって庄原の山にも魅力があることが伝わったと思います。

実際にこの夏は気温に関する問い合わせが多く、その効果を実感しています。

別の要因もあると思いますが、7~8月の吾妻山ログジ利用客数は前年比20%以上の増加でした。「山ヨガ体験」に参加するため、前日から宿泊した埼玉県の女性もいらつしやりました。山ヨガ関連の報道がされてからは、山ガールファッションに身を包んだ20代女性のグループやカップルの登山客が増えました。

ぜひ来年以降もこのキャンペーンを続けていただき、より広い地域からの誘客につなげてほしいと思います。

若い登山家が増えるきっかけを作った



広島登山研究所 今村みずほ さん

参加者一人一人に、比婆山連峰のよさを感じてもらえたと思います。今回のキャンペーンは、若い人へのアピールという部分が注目されましたが、若い人だけでなく年配の方の表情

がとても明るかったことが印象的でした。

個人レベルでは、若者に登山の魅力や比婆山連峰の魅力を発信したという面で、PR効果は十分にあったと思いますが、集客という面では少し弱かったように感じました。

とはいえ、若い世代を意識した「山」をテーマにしたイベントを開き、市内外に広くPRされたことにより、庄原市の注目度が上がり再訪問するきっかけになったと思います。そして、若い登山愛好家が増えていく社会的な雰囲気の後押しすることができたのではないかと思います。

02

民間事業者と観光商品を開発

バス事業

着地型観光を目指すには、企画イベントや体験メニューなどをバスツアーでつなぎ、誘客を行う商品開発が不可欠です。その観点から、市内のバス会社などと連携しバスツアーの企画と実証実験を進めました(さとバスツアー造成事業)。また、現状では、既存施設を見に行く観光が主流であることから、民間旅行会社にバスツアーの造成を委託し(バスツアー造成事業)、バス会社

などが企画するバスツアーに対し助成する事業(バスツアー造成支援事業)を実施しました。

しかし、さとバスツアーに関しては、観光施設ではない、普段の生活の場を観光資源にするため、受け入れ人数が限られ、旅行代金が割高になる傾向から、集客につながりにくい面がありました。ただ、その中でも実施催行できたツアーは好評を得ました。さらなる



新たな商品開発に手応え オーストラリアの高校生 体験交流バスツアー

昨年11月、オーストラリア、パース市の高校生20人が、バスツアーで体験メニューに参加しました。ツアーで訪れた先は、大根の産地高野町。大根の収穫やおにぎりづくりなどを体験し、高野中学校の生徒と交流を深めました。

このツアーを共同企画した、海外からの旅行を主に企画しているJTBグループ、バルマーケティンギング&トラベルの坂井弘美さんによると、外国の高校生の交流はスポーツ交流などが主流で、こういった農業を通じて交流するようなものは少なく、日本での農業体験を求めているといえます。

今回のツアーに参加したパース市の高校生は、大型農家が大規模経営する自国の農業と、大根を一本一本収穫、洗浄する日本の農業との違いにとっても驚いていました。また、新鮮な食材を使った手料理を食べる機会が少なくオーストラリアの生徒にとって、収穫したものをすぐに調理し食べられる体験はとても好評でした。そして、交流を受け入れた側も貴重な経験になったといえます。

魅力的な商品、付加価値の高い商品を企画していくことが必要です。

高野中学校教頭の松島俊宏さんは「生徒たちにとってとても有意義だったと思う。こういった機会があればぜひまた経験させたい」と話していました。生徒たちにもこれまでにない交流と経験ができたことで、参加側と受け入れ側の双方にとって価値が高い商品だったといえます。これを商品開発の一つのモデルとして、同様のツアーを継続的に企画、実施を進めていきます。

各事業開催データ(H22年10月～H23年3月)

| さとバス事業 | | バス委託事業 | |
|------------|-----|------------|-------|
| 参加人数 | 91人 | 参加人数 | 551人 |
| バス1台当たりの人数 | 13人 | バス1台当たりの人数 | 29.0人 |
| 催行本数 | 7本 | 催行本数 | 19本 |

| バス支援事業 | |
|------------|--------|
| 参加人数 | 3,104人 |
| バス1台当たりの人数 | 35.7人 |
| 催行本数 | 67本 |
| バス台数 | 87台 |



03 市民が主役。さとやま博の けん引役「体験メニュー」

儲ける事業

さとやま博最大の目的は「市民の皆さんが儲ける観光」を定着させることでした。その仕組みづくりとして、里山の地域資源を生かし、新しい庄原市を楽しんでもらう「体験メニュー」の開発を目標にし、取り組みを進めました。

ゼロから作るメニュー、これまで市民の方が個人的に行っていたメニューのブラッシュアップ(磨く)、特産品の開発、観光ガイドの養成など、市民の皆さんの求めに応じて研修会や資金援助、アドバイザーの派遣などの支援に力を注ぎました。そして97メニューが開発されました。いよいよさとやま博がスタートを切りました。

しかし、そのうち実施できたのは57メニューに留まり、多くの課題が見えてきました。当初は、広報宣伝が不足したり、参加者の希望日と開催日が合わなかったりするなど、参加者が集まらず中止に至るケースが目立ちました。開催したメニューも含めて、好評だったメニューとそうでないメニューを分析し、内容の再検討やメニューの組み合わせなどブラッシュアップ支援が重要だと再認識。主催者と観光公社設立準備室がしっかりと連携を取り合うことで、

より魅力ある体験メニューの開発を目指しました。

市民の皆さんが持っている趣味や技術などと地域資源を生かしたメニューは好評を得ました。参加者は、普段できない体験ができることに喜びを感じると同時に主催者の人柄に強く引かれ、何度も参加するリピーターへとつながっていききました。

体験メニューとは関係なく個別に買い物などで主催者を訪れたり、友人・知人と一緒に参加する人もいたり、交流人口の増加につながってきました。



04 体験メニュー主催者が語る それぞれの「さい発見」

体験メニューを主催した4人の方をレポートします。

参加者と一緒に楽しみ
一緒に成長できた



橋岡千春 さん(口和町)

け、学校卒業後は県内のケーキ屋で働いていました。次第に自分の店を持つのが夢となり、夢をかなえるための試作の日々が始まりました。しかし、ふとしたきっかけで「自分もパンを1つくらい焼けるようになってみたい」という思いを抱き始め、菓子作りはいつの日かパンの試作へと変わりました。「パン作りの道具や材料、販売するきっかけをつくってくれた人たちとの出会い。たくさんものに支えられながら、パン屋をスタートさせました」。



とてもよく、山に囲まれた自宅兼作業場ののどかな雰囲気も喜ばれました。「初めのころは参加者の人が満足できているのかわかりませんでした。でも、パンを持ち帰る皆さんの笑顔に少しずつ自信ができてきました」。普段やっている作業が喜ばれることに気づき、とにかく体験してくれる人に楽しんでもらいたいと、子どもでも参加できる簡単なメニューを考案。橋岡さんの人柄もあり人気さらさら高まりました。

パン作りのきっかけ

「声を掛けていただいたので、うまくいくかどうか不安でしたが、私であればとお話しをお受けしました」。そう語るの主にパンの製造販売を行う「古梨」を営む橋岡千春さん。

何でも手作りする母の影響を受け、子どものころはいつも何かを作っていました。そんな中で一番夢中になったのが菓子作り。「大人になったらケーキ屋さんになる!」という思いを貫き続

人気を確かなものにした
体験メニュー

「リクエストが多かった体験メニュー。パンもおいしいし人気メニューになると思っていた」と話すのは観光公社設立準備室の井村光江さん。その予想は的中しました。今春さとやま博で初めて開催したパン作り講習ではいきなり応募者が殺到。予定の申し込み人数を大幅に上回る申し込みがあり、その反響に驚きました。参加者からの反応が

大きかったさとやま博のPR効果

予約がいっぱいになり参加できなかった人にも、急ぎよ予定にはなかった日に同様のメニューを提供し参加希望者の要望に応えました。もてなしの心と人とのつながりで、参加者の心をつかみました。

「人に教えることによって、自分のやっていることを確認できる、自分自身の



成長にもつながっています」。パン作りを本格的に教えたことがなかった橋岡さんにとって、さとやま博はいいきっかけになったと話します。

しかし、さとやま博が終了した今、橋岡さんは同様の体験メニューを自身で続けることは、難しいのではないかと考えています。これまであったさとやま博のネームバリューがなくなり、事務局が担っていたPR活動や事務の負担が増えることが大きいといいます。

現在は、週2日パンを焼き、移動販売や卸し、イベントを中心に販売している橋岡さん。さとやま博で認知度が上がり、口和地域はもとより他の地域からも声を掛けてもらえることが増えました。今後は、そういった声にも応えたいと販売方法を探っています。将来は、自分の店を持ち、幅広い地域の人に自分の作ったパンを知ってもらおうのが夢。橋岡さんは少しずつ歩みを進めます。

自分たちを成長させて
くれたさとやま博



高野町あつぎ会 会長
馬船純一 さん(高野町)

きっかけを求めて参加

農業が盛んな高野地域。その農業後継者が集まるグループ「あつぎ会」がさとやま博に参加したのは理由がありました。「農業の先進地へ視察に行ったり会合したりしていたが、町外の人と交流することがなかった」と馬船さん。定期的な活動はするものを取り立てて何かをしてきたということがなく、どこにもなくもやもやしたものがありました。そんなとき市役所の職員から「さとやま博」というのが始まるので参加してみても」と言われ興味を持ちました。「自分たちで何ができるかわからないけど、何かのきっかけになるのでは」。その思いを持ったメンバーが、ほかのメンバーへ声を掛けました。「不安を持ちながらも「みんなやってみよう」と立ち上がりました」。

人気商品スムージー誕生

まず行ったことは、メンバー全員さとやま博が何なのかわからなかったため、事務局である観光公社設立準備室の職員に会合へ出席してもらい話を聞きました。「不安がついていたメンバーもさとやま博の中身を聞いてスイッチが入った」。心配をよそに次々というんな案を出すメンバーがそこにいました。

地域に認められた自分たちの活動

「石窯を一緒に作ったらどうか」「プチ体験がうけるのでは」「春夏秋冬すべて体験してもらいたい」。考えた体験メニューは10。赤字になるとわかっていても、その案をすべてやりきると決めていました。結果、マスコミに取り上げられたり、参加者から「よかった」という生の声が寄せられたりして、メンバーのモチベーションも上昇。「外に出なかったときは自分たちがどういう評価をされているか分からなかったが、他の人と関わることでそれを知ることができた」。ここから、あつぎ会の目的意識も変わってきました。特に、地域の人から言われた「あんたらの活動は地域のためになつとるんで」という一言は、自分たちのためにしてきたという思いがあつた分、驚きを感じました。そこからより地域のためにという意識が芽生ええました。「高野町に来たことがない



人が、自分たちの体験メニューに参加して庄原を知ってもらうことで、少しでもお金が地域に落ちてくれたらうれしい」。

さとやま博に感謝

「農産物を作るのはプロだがそれ以外ほど素人」というあつぎ会。彼らの体験メニューは、参加者には素のままに対応し、お客さんに教えてもらいながら一緒にメニューを作っていくものが多い。実はそれがうけているのだといえます。その経験が自信に変わりました。

体験メニュー主催者がすべて前向きな人ばかりだったことも刺激を受けました。「頑張っている人がこんなにいるんだということが分かり、自分たちもという気持ちになった。そう思えることも、さとやま博のおかげ」と感謝します。さとやま博が終了しても体験メニューと同様のものを続けていきたいと語る馬船さん。今後も地域のために活躍を続けます。



継続が何より大切
そうすれば人も変わって
いくと思う



小林富子さん(東城町)

庄原を知ってもらえるきっかけ
できた

昔ながらの郷土料理を作り味わう教室を体験メニューとして提供した小林富子さん。お話を聞きに何うと、冒頭から「地域のイメージを大事にせよ、いけん」「自分たちの食文化には希少価値がある」と地域に対する思いが次々と飛び出してきました。

小林さんは、県生活改良普及員だったころの経験や知識、人脈を生かし、地域の食文化や風習の大切さを伝えようと長年取り組んできました。昨年9月、その活動を知る観光公社設立準備室の職員が小林さん宅を訪れ、さとやま博への参加を依頼。「庄原のためなら」とその場で快諾しました。



山野草を使った料理を楽しめる小林さんの体験メニューは、普段、山野草などなじみがない都市部の人から好評でとても喜ばれました。小林さんは2、3カ月に一度ゆめさくらで田舎の味作り講座を開いています。小林さんはニューに参加したことがきっかけで、その講座へも参加したいという申し込みが増加。遠くは福山市からも参加があり、知り合いや友達と連れ立って参加する人も増えました。「郷土料理を味わうことで、庄原を知ってもらえるきっかけにもなつてよかった」と喜んでいます。

価値を認めることが大事

参加者からの評価に対し、地元への反意はいま一つでした。「そこらへんの葉っぱを取ってきてそれでお金をもらうことに抵抗があるんじゃないか」と。価値観の違いを指摘する小林さん。それでもあきらめずに続けていくことで

その価値をわかってもらえるときが来ると信じています。「この地域ではワニを食べる風習がある。それが地域の個性。これを大事にすることで地域のよさがわかってくると思う」。

市民一人一人が、地元にあるものが価値あるものという認識を持つことが、これからの活動で何よりも大切なのだと声を大にします。

PR役のさとやまのお母さんとして

さとやま博ではPR効果を高めるために、おせわびと「さとやまのお母さん」を設置。地域の案内役として市内で8人が登録、小林さんもそのうちの一人としてPR活動に参加しました。自分の知り合いや講座などに参加してくれた人に、事務局から送られてくる情報紙を配り、さとやま博をPRしました。「他のおせわびとたちと交流する機会があれば、もっといい活動ができはす。参加するも十分な役割を果たせなかつた思いが強いです」。

見直した経済感覚

もともと地域の食文化や風習を次代へつないでおきたいの思いが強かつた小林さん。食材を採ったり保存したりする労力などは考えておらず、経済感覚は薄かつたといいます。しかし、事務局から材料代の面ではいろいろと指摘



され、自分だけではなくほかの体験メニューを提供する人にも必要なことだと思ひ始め、参加費をもらうことについての考え方も変わりました。少しでも収入につながる体験メニュー提供が増えるかもしれないと思うようになりました。

さとやま博は続けるべき

「せめて3年はやったほうがいい。すぐエネルギーがあることだけだね」。さとやま博でしてきたことは1年では浸透しないと指摘します。

そんな小林さんは市内各地からも頼られる存在。何かあれば声が掛かります。その地域のイメージを大切にしたいアドバイスを親身に送り続けます。「米作りに関する風習は、はしか落しや、カマ祝いなどいっぱいある。チャンスがまたあれば体験メニューとして取り組んでいきたい」。さとやま博第2弾の発信を心待ちにしています。

人と人をつなげてくれた
さとやま博



森本千尋さん(川北町)

「暮らし宿 お古」を開業

田舎暮らしをしたい、伝えたいと昨年4月、東京からイターンした森本千尋さん。空き家となつていた母の実家を再生し、田舎体験ができる宿にしようとコツコツと修繕してきました。多くの人の協力を得て今年5月、古くからの日本の暮らしを経験する宿「暮らし宿 お古」をオープン。現在は、週末にのみ宿泊客を受け入れながら、田舎暮らし体験を提供しています。

森本さんはまず、この古民家を再生する過程を体験メニュー化。修繕工事の進み具合に合わせて掘りこたつをつくったり、柱などに柿渋を塗ったりという作業を参加者と一緒になつて行いました。参加は広島や福山、尾道など都市部からが多かつたといひます。「庄原

の人にとっては当たり前前の障子の張り替えさえも、都市部の人にとっては特別なこと。そういった経験ができることが喜びなんです」。

不安の中の出発

「これまでいなかつたよそ者が、いきなり来たかと思うと何やらこそごそしている」と、迷惑がられているのでは。自分がしていることに対してどう思われているのか不安があつた森本さん。できるだけ自分のやつていることを知つてもらおうと、体験メニューやイベントをする際には地域の人たちに声を掛けました。「多くの皆さんに協力的に関わつていただきました。実はそれが体験メニュー成功へのポイントにもなりました。「体験メニューといっても自分では何も教えられないんです。地域の人の協力があつてこそ実現できました」。

地域に受け入れられた瞬間

今夏、同じ川北地区で、一週間みっちり田舎体験する『里山ワークキャンプ in 庄原』という体験メニューが行われ、東京などから学生が参加しました。そのうち一日が「暮らし宿 お古」。そのときにも地元のお母さんたちに声掛けして、かしわもちの作り方をお願ひしました。もち米をかまど



で炊き、みんなで一緒にこしらえました。そこで思いがけないことがありました。「自分の孫たちと一緒にしているよう。今日参加できて本当によかつた」。お母さんの一人が涙を流して喜ぶ姿に、自分がしていることが認められたよううれしさが込み上げました。

人と人をつながる

単なる観光地としてではなく、人と人、心と心がつながることで、庄原が特別な場所になると考えていた森本さん。「さとやま博にはそれがあつた。体験メニューを通じて庄原市にこんな人がいるんだと知つてもらえた」。遠くから知らなかつた場所を身近に感じてもらうようになったと喜びます。

そして市内の人たちどうしもつながり合えました。「知り合つたものどうし一緒になつて新しいことが取り組めれば」と今後に期待を膨らませます。

庄原に対する思い

さとやま博は、直接関わつていない人にはまだまだ馴染みがないようにも感じた森本さん。細く長く続けていけば、そういった人にも浸透し、それが庄原をもつと知つてもらふことにつながるのでは、という思いがあります。

市の助成金を活用して古民家再生に取り組み、民宿の開業という夢をかなえた森本さんは、庄原市に少しづつ恩返しをすることができたらという思いが強くなります。「一度にたくさんのお客さんを呼ぶことはできませんが、一人一人のお客さんとの結びつきを生かしていきたいです。自分と同じ庄原ファンを増やすことがその一歩。その思いを胸にこれからも人のつながりを大切にしていきます」。



06 外から見たさとやま博はどう映ったのか

これまでにない観光のカタチを提案した「さとやま博」は市内にどのような影響を与えたのでしょうか。庄原商工会議所と国営備北丘陵公園にお話を伺いました。



国営備北丘陵公園
公園管理センター長
奥井智裕さん

観光は広域連携が不可欠

さとやま博は観光面で多くのきっかけを作ったと思います。市と公園とが連携していくきっかけになり、その中で新たなイベントも立ち上がりました。開催したアートクラフトフェスタでは地元の家さんたちが集うきっかけづくりにもなりました。

連携といえば、公園のキャンペーンには必ずさとやま博の事務局と一緒にPRを行いました。公園内でもさとやま博をこまめにPRしていただきました。それにより庄原にはいいところがたくさんあると認知されてきていると思います。

また、三次を含めた備北エリアとしての観光や中国横断自動車道尾道松江線を意識した観光を考えていくことも必要だと思います。

(千円)

| 庄原市観光消費額 | |
|----------|-----------|
| 区分 | 合計 |
| H21 | 4,399,263 |
| H22 | 3,970,009 |

※広島県観光客数の動向調査より

(千円)

| 庄原さとやま博(H22年度) | |
|----------------|---------|
| 区分 | 合計 |
| 体験メニュー | 1,210 |
| さとバスツアー | 879 |
| ひろでん100バスツアー | 3,180 |
| バス造成支援 | 8,767 |
| さとやま博企画、連携イベント | 118,821 |
| 計 | 132,857 |

※庄原市観光公社設立準備室試算



庄原商工会議所
事務局長
栗部秀道さん・大歳龍さん

効果が現れるのには時間が必要

多くの事業をさとやま博に絡めたことでその認知度は高まり、飲食店などへの集客につながった部分はあると思います。しかし、全体として宿泊にまでつなげたのかどうかは検証が必要です。経済効果を語る上で、農家民泊といった宿泊を絡めた部分が増えていることが必要だと思います。市内には頑張っている農家民泊がありますので、そういった方々との交流し、少しでもそういったものが増えていくような仕掛けも必要ではないでしょうか。

さとやま博を知る市民がどれだけい

るのかも大きなポイントです。知らないという人、聞いても答えられない人がいまだにいます。市民が知らないというPR効果は上がりません。市民一人一人が広告塔になれば、それを伝え聞いた人が庄原に興味を持つはずです。そのための取り組みはとて大切だと思います。

さとやま博で仕掛けたものが浸透し、波及効果が目に見えて分かってくるにはまだまだ時間が掛かると思います。この1年2カ月をきちんと振り返り、その仕組みをさらにによりよいものに作り上げてほしいと思います。

05 体験メニュー主催者の交流会が開催!!

「同じ思いや悩みを共有したい」。当初から要望が多かった主催者の交流会がやっと実現。皆さんの本音はどうだったのでしょうか。

初顔合わせで活発な意見交換

秋も深まり始めた11月2日、さとやま博で体験メニューを主催している17人が集まり初の交流会を開きました。内容は、主催者の実践発表、意見交換会、交流会の三部構成。



3グループに分かれて意見交換

皆さんは、お互いに名前を知っていても会ったことがない人が多く、この日を心待ちにしていたといいます。

冒頭、暮らしたのハーブ体験を主催した土井福恵さんと和裁縫体験を主催した宍戸澄江さんの2人が、実施した体験メニューの様子や感想などを、写真を交えながら発表。その後の意見交換会はワークショップ形式で行い、多くの意見が飛び交いました。多くの主催者がさとやま博終了後も体験メニューを続けたいと話しています。

会場では、土井さんの体験メニューにも登場したハーブを使った手づくりケーキがふるまわれ、おいしいと大人気。作り方を教わる一幕もありました。

商工観光課と観光公社設立準備室は、今回のような主催者交流会を重ねながら意向を聞き、それを集約したうえで体験メニューを継続して行う環境づくりを進めたいと考えています。



思いを語り合う主催者の皆さん

意見交換で出された主な意見

- よかったこととして
 - さとやま博の魅力を再発見する機会になった
 - 地域の財産を知ってもらえた
 - 元気をもらった
 - 「お金よりも大切なものがある」という仲間が増えた
 - 参加者の感動する姿に自身も良い影響を受けた
 - 参加者との交流が楽しかった
 - 観光公社設立準備室のサポートがよかった
 - 「ありがとう」「おもしろかった」とハガキやファックスをもらった



- 課題として
 - 料金・人数の設定が難しい
 - 集客が少なく工夫が必要
 - 本業との兼ね合いが難しい
 - 天候に左右される
 - 1人では手が足りない
 - 自分でPRした方がたくさん集まった
 - 忙しく定期的に開催できない
 - 他の人の体験メニューに参加すればよかった
 - 時間設定が悪く時間が足りなかった
- 体験メニューを続けていくためには
 - 情報交換の場としてこの交流会を定期的に開催してほしい
 - 観光公社設立準備室で今後も活動をサポートしてほしい
 - 地域性を生かしたイベントとタイアップを
 - 体験メニューを組み合わせることも必要
 - 安くしすぎずきちんと対価を得られる料金設定が必要
 - 内容のブラッシュアップが必要

さとやま博によって、庄原市の観光は変わってきたのか。市民や参加者からの声をどう次につなげていくのか、市商工観光課の矢吹正直主幹に聞きました。

着地型観光を根付かせるために



商工観光課 矢吹正直 主幹

ような仕掛けをしたのがさとやま博の体験メニューです。

PR事業の効果が大きかったよ
うですね

さとやま博は、庄原市の観光を変えようという事で始めたものです。もともと大型バスでツアーを組んだりする観光は庄原市では帝釈だけでした。そのほかはというと、実は着地型観光をしていました。ただそこにスポットが当たっていなかった。そこに目が向く

さとやま博が終わりました

さとやま博の大きな成果の一つは、観光情報を一元化し発信できたことです。これまで行ってきたそれぞれの地域イベントは、それぞれが独自でやっていたものが多く、横のつながりはほとんどありませんでした。それを庄原という一つの単位体、オール庄原として情報を一元化したPRができたと思っています。小さかったPR効果が飛躍的に上がりました。市の観光ホームページのアクセス数も一日1万件を超えるなど庄原市への関心が確実に高まっています。それによって、イベント出店者も、出店しにくかった他の地域のイベントに声が掛かるようになり、出店者が参加者と呼んでくれるということも増えてきました。単独ではできなかったことも共同して企画開発がで

きたものもあります。さらに国営備北丘陵公園やかんぼの郷、国民休暇村など関連事業者や施設が手を結べる可能性が出てきました。宿泊施設同士でタイアップし、旅行をパックにして売り込もうということが出てくるかもしれません。

観光公社設立準備室が中心の推進役でした

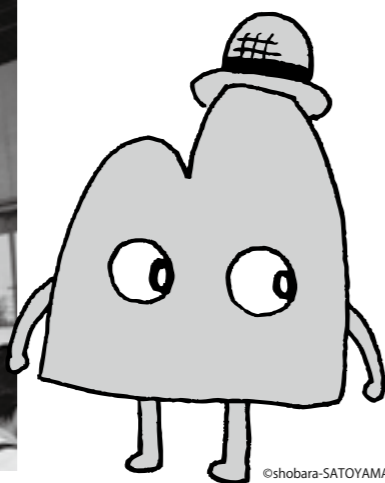
さとやま博ができたのは、観光公社設立準備室ができたことにほかなりません。体験メニューの開発から、多くの媒体を使ったPR活動など、さとやま博期間中に行えたのも準備室がしっかりと取り組んできたからこそだと思っています。現在、観光公社設立準備室の再編について検討を進めています。さとやま博に変わる次の取り組みを実施していくうえでも、準備室がどういった形になるかが大きく影響してきます。オール庄原として一体的な取り組みを進めながら、各地域の特性を生かした観光も推進していける組織にしたいと模索しています。

観光の広域連携が進んでいきます

観光を進めていく上で広域的に他の市町と連携しようとしたとき、オール庄原になっていないと、連携をとるこ



キョロやまくんもこれで見納めか...



©shobara-SATOYAMA 2010-2011.

昨年6月に誕生したキョロやまくん(本名:里山博士)。さとやま博の広報部員としてあらゆるイベント会場に姿を現しました。インパクトのあるその姿は圧倒的な認知度で、PR事業をけん引。さとやま博を盛り上げた功労者の一人です。

取材を終えて

さとやま博がスタートしたとき、市民の反応はいまひとつでした。始まって半年ほど経ったときも「よく分からない」「何をやっているのか見えてこない」といった厳しい声も耳にしました。しかし、この1年2カ月の間に開催された事業やイベントは前年の同期間に比べ3倍以上、少なかった体験メニューも全市で約150メニューが実施され、多くのメディアに取り上げられたことで、その中身が市民の方にも少しずつ伝わっていったと思います。ただ、取材した先で「さとやま博と接点のない人にはつかめない事業だったのではないかと感じる」という方もいました。どうしても興味がないものには関心が薄くなりがちですが、それを引き寄せることもこれからの観光のポイントにもなると思われています。その中でも「市民が庄原市の魅力を伝えようと常に意識を持つことが、最大のPR効果につながる」という庄原商工会議所の栗部さんの言葉がとて印象に残っています。そして、参加者と主催者の心の交流を生んだ体験メニューは、これからの庄原の観光の方向性を示す大きなきりかけになり、可能性を広げました。これらがしっかりと根付くように、引き続き市民の皆さんと一緒に取り組んでいくことが必要だと思えます。

とは極めて難しいです。これからは、中国横断自動車道尾道松江線が通る沿線の市町との連携がとて重要になります。広域で手を携えていくためにも、さらに情報を一元化しオール庄原になることが必要です。今後これが必ず効果を発揮してくると思います。

庄原市の観光について、最後に一言

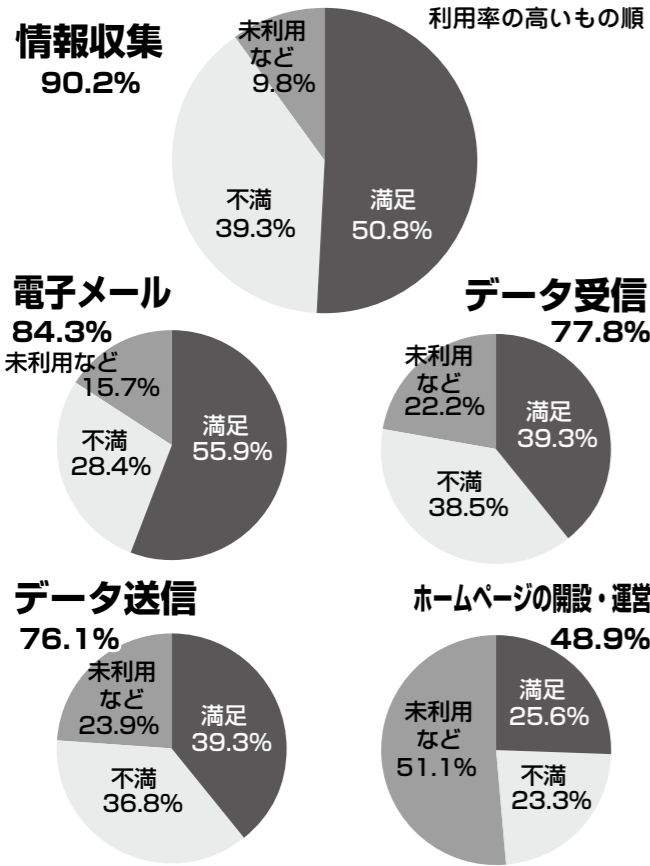
合併して7年ですが、そのスケールメリットを初めて発揮できた事業がさとやま博であり、感じていただけた事業だと思っています。

観光は確実に変わってきています。庄原の観光が着実に歩めるシステムを作るため、その検討を進めていきます。さとやま博は終わりましたが、実はここからがスタートだと思っています。さとやま博で得られたものを次のステップに生かせるよう、これからも市民の皆さんと一緒に、庄原市の観光振興に努めていきたいと思っています。



アンケート集計結果

◎インターネットの利用目的(複数回答)と満足度



◎インターネットの利用率

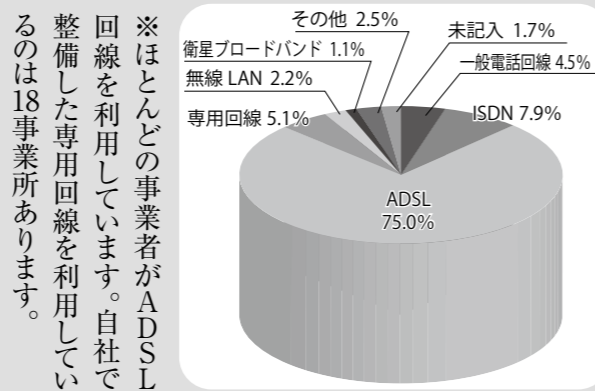
| 地域 | 利用率 |
|----|-------|
| 庄原 | 81.9% |
| 西城 | 82.9% |
| 東城 | 75.9% |
| 高野 | 61.5% |
| 口和 | 63.5% |
| 比和 | 46.2% |
| 総額 | 85.7% |
| 全体 | 78.1% |

事業所

※事業所では全体の約78%が利用しており、業務に必須となっています。

(注)率は回答数に対する割合です。

◎インターネットの接続方法



※ほとんどの事業者がADSL回線を利用しています。自社で整備した専用回線を利用しているのは18事業所あります。

超高速情報通信網整備の検討を進めています

光ファイバー網整備の再検討・再調査について、今回、一定の方向性を示しました。今後、住民の皆さんの意見を伺い、最終的な事業手法を決定していきます。

情報政策課情報政策係 ☎0824-73-1113

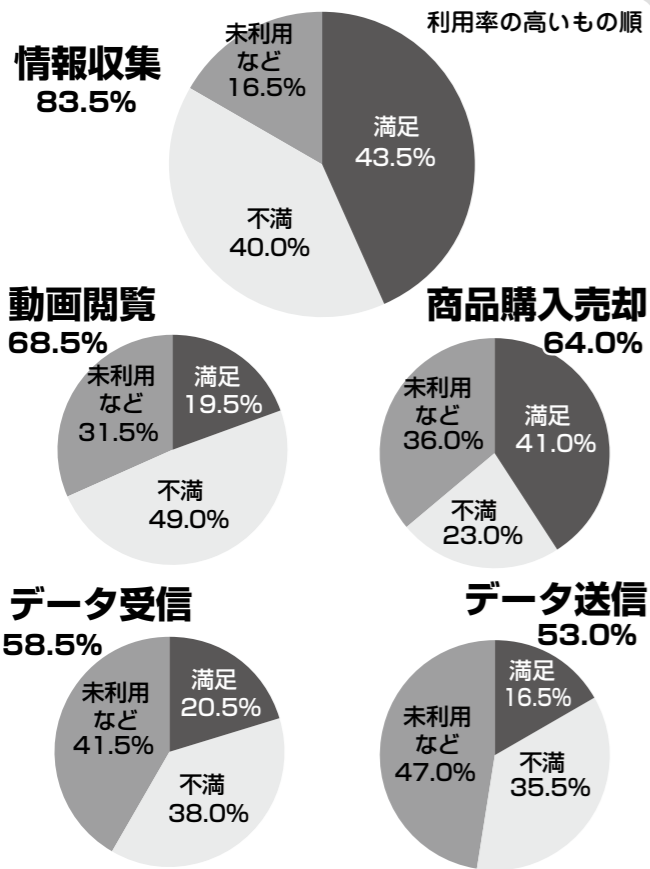
これまでの経過

市は、平成18年3月に策定した庄原市地域情報化計画の中でCATV(ケーブルテレビ)事業を掲げました。ただし地上デジタル放送に対応させるためには、本年7月までの3年余りで整備が必要で、その事業費は約9億円と試算され、その大半は地方債でまかなわなければなりません。市財政健全化のため策定した公債費負担適正化計画で、地方債の発行額を抑えることになりました。そのためCATV事業を実施するとなるとほとんどの地方債を投入することになり、他事業の中止や延期が懸念されるため、平成19年11月、CATV事業を凍結しました。その代替手法として、平成20年度からテレビ共聴組合への補助、DSLと無線LAN事業者への助成、平成22年度には衛星ブロードバンドの整備を行い、情報格差の解消を進めてきました(表1参照)。

事業の検討開始へ

近年の情報通信技術の発展に伴いブロードバンドは高速化、大容量化が進み、県内でも地上デジタル放送の対応にあわせて光ケーブルによる超高速情報通信網の整備が行われてきました。市は、このような状況を踏まえ、本

◎インターネットの利用目的(複数回答)と満足度



◎インターネットの利用率

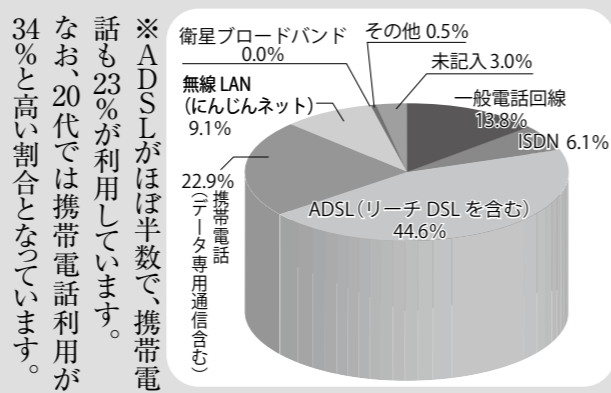
| 地域 | 利用率 |
|----|-------|
| 庄原 | 27.4% |
| 西城 | 21.6% |
| 東城 | 22.3% |
| 高野 | 16.3% |
| 口和 | 17.9% |
| 比和 | 16.1% |
| 総額 | 24.1% |
| 全体 | 23.4% |

住民

※年代別では20～30代で70%以上、40代で62%、50代で23%が利用しています。

(注)率は回答数に対する割合です。

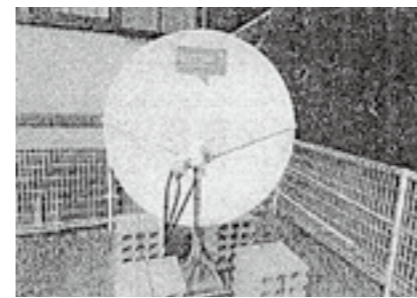
◎インターネットの接続方法



※ADSLがほぼ半数で、携帯電話も23%が利用しています。なお、20代では携帯電話利用が34%と高い割合となっています。

表1 これまで市が補助した情報通信基盤の利用率

| | |
|--------------|-------|
| ◎ADSL・リーチDSL | 18.6% |
| ◎無線LAN | 26.2% |
| ◎衛星ブロードバンド | 16.7% |
| 合計 | 19.5% |



衛星ブロードバンド

年3月の施政方針で光ファイバー網の整備についてCATV事業の再検討を含めた調査を進めることとし、さまざまな検討を行ってきました。

アンケートの実施

市が民間事業者へ補助して整備を行った情報通信基盤の利用率はわずか2割。実際のインターネット利用状況や満足度などを調べるため、本年9月にアンケート調査を実施しました。

◎調査対象

- 住民：住民票から世帯が重複しないようにした上で無作為抽出
- 事業所：商工会議所および商工会所属会員のうち、全法人会員と個人会員の1/3を無作為抽出および組合など

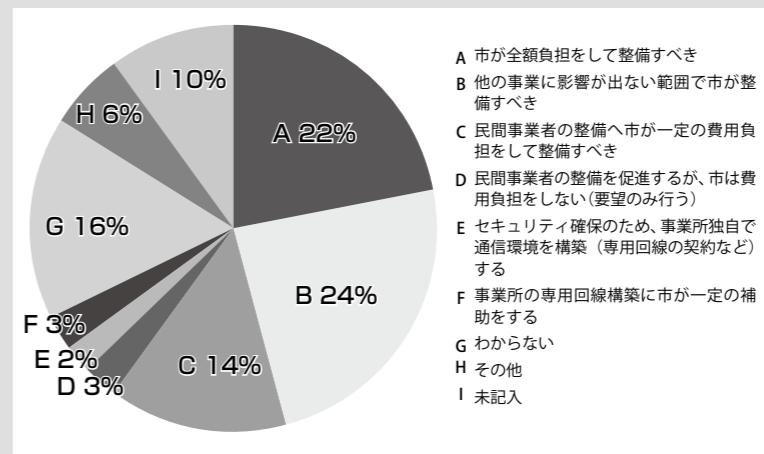
| | 事業所 | 住民 |
|-----|-------|-------|
| 配布数 | 900 | 2,500 |
| 回収数 | 457 | 855 |
| 回収率 | 50.7% | 34.2% |

◎実施期間 9月7日～20日

◎調査方法 質問表を作成し、郵送で回答を求めた。

◎回収率

◎超高速通信網整備についての考え



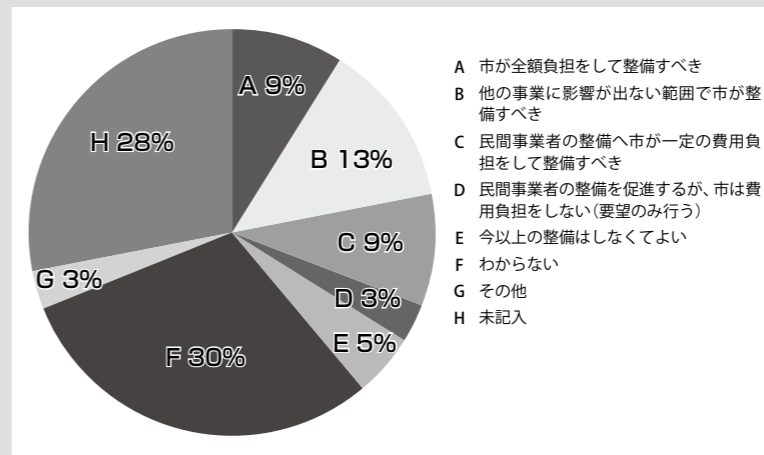
A 市が全額負担をして整備すべき
 B 他の事業に影響が出ない範囲で市が整備すべき
 C 民間事業者の整備へ市が一定の費用負担をして整備すべき
 D 民間事業者の整備を促進するが、市は費用負担をしない(要望のみ行う)
 E セキュリティ確保のため、事業所独自で通信環境を構築(専用回線の契約など)する
 F 事業所の専用回線構築に市が一定の補助をする
 G わからない
 H その他
 I 未記入

※市が一定の負担をして整備すべきとの回答が41%あり、無理のない範囲で負担を求めるものが多数となっています。

◎意見・提言(自由記載)

- (整備に賛成)
- 高速情報通信網整備は、今後企業誘致などの条件になるので、早期に責任を持って整備すべき。
 - 光通信がないのは考えられない。お客様から多くの不満がある。
 - せめて企業や住居が集中している地区には早く光回線が利用できるようにしてほしい。
 - 市全体ではなく、人口や事業所の数などを考慮して部分的に早期対応してもらいたい。
- (整備に反対)
- ADSLは必要だが、光はいらない。
 - インターネット整備に多額の税金を使うべきでない。
 - インターネット回線のために市が費用を出す必要はない。
 - 現状はほとんど問題ない。
- (その他)
- これからは無線が重要だと思う。光通信ばかりでなく、無線とのバランスも考えてほしい。
 - 最優先事業は、送受信できる防災システム整備だと思う。
 - 田舎だからこそ、余計に双方向の通信手段が必要である。
 - よく調査して推進すべき。

◎超高速通信網整備についての考え



A 市が全額負担をして整備すべき
 B 他の事業に影響が出ない範囲で市が整備すべき
 C 民間事業者の整備へ市が一定の費用負担をして整備すべき
 D 民間事業者の整備を促進するが、市は費用負担をしない(要望のみ行う)
 E 今以上の整備はしなくてよい
 F わからない
 G その他
 H 未記入

※市が一定の負担をして整備すべきとの回答が22%となっています。ただ、割合として意見がないものが多く、全体での関心は低いものと考えられます。

◎意見・提言(自由記載)

- (整備に賛成)
- 地理的条件を克服するためには、情報化が必要だ。
 - 今後は有線ではなく無線通信になっていくので、市街地や工業団地など一部をやる程度でいい。
 - 全市すべてを対象とすべきではない。民間企業を十分活用すべき。
 - 情報通信網の環境整備は、過疎化を止める上でも絶対必要である。
- (整備に反対)
- 高齢者の多い地域であり、住民へ負担を増やしてまで推進しても、それはサービスではない。
 - 市の費用を大幅に支出すべきではない。
 - 情報配信はあまり必要がない。
 - オフトーク(有線放送)や回覧などで十分だ。
- (その他)
- テレビを活用するようなシステムが有効ではないか。
 - 防災無線の整備を希望する。
 - 有線放送システムを考えてはどうか。など

検討の状況

次の観点から検討を行ってきました。

①住民ニーズを踏まえた事業内容および事業効果

市が整備した情報通信基盤の利用率は約20%となっています。アンケート結果から企業ニーズは高く、住民ニーズは低いと考えられます。

②携帯電話などをはじめとする他の整備手法との比較検討

無線系(携帯電話など)は、市内全域のカバーが難しい状況です。また事業所が使用する通信手段としては、無線系は適さない可能性が高いと思われます。

③これまでの整備事業に対する補助金返還の可能性

市内全域をCATVで整備した場合、テレビ難視聴対策補助金などの補助金返還の可能性があります(最大で約11億4,000万円)。

④事業費および財源の精査

長期総合計画実施計画や公債費負担適正化計画など、今後の事業や財源を定めた計画の中で、実施可能な事業費を算定しました。なお、国の補助金を活用する場合には整備エリア内で50%以上の加入が求められるなど条件が厳しく、国全体の予算額も少ない状況です。

超高速情報通信網整備についての方向性

整備方針

- 市が現在公の施設などに敷設している光ケーブルを利用した超高速情報通信網の整備を行う。
- 平成25年度以降に行う
- ※CATV(ケーブルテレビ)の計画は廃止します。

運営

- 通信事業の運営は、民間事業者で行う。

財源

- 現時点での事業費は、5.7億円を想定。
- 複数年で実施し、財源は起債を予定。

整備エリア

- 庄原・西城・東城の市街地部分(市が敷設済みの光ケーブルの両側半径約500m範囲)
- ※そのほかの地域にも市の光ケーブルは敷設しており、将来の範囲拡張も可能です。今後、財源や加入者数なども考慮した年次の整備の検討を行います。

今後のスケジュール

市は、以上の方向性を決定したところですが、今後、市民の皆さんのご意見を伺い、最終決定します。

(これからの予定)

- ①市民説明会の開催
- ②市民検討委員会で審議
- ③長期総合計画へ計上



※アンケートの集計結果は、情報政策課、各支所地域振興室・企画調整室、または各図書館、市ホームページでご覧になれます。

ジェネリック医薬品への切り替えで医療費負担の軽減を

保健医療課国保年金係
☎0824-73-1158

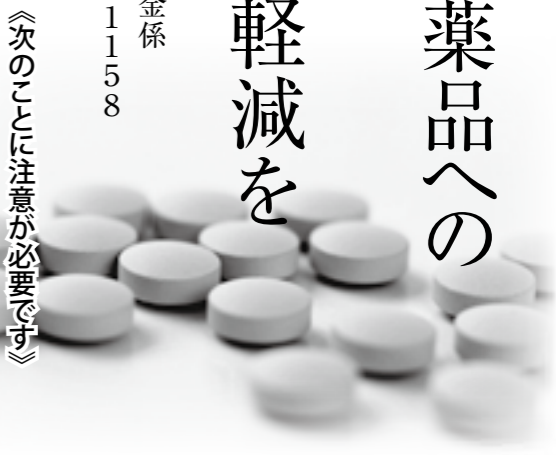
ジェネリック医薬品へ切り替えた場合の自己負担軽減額を対象者に通知します。

市の国民健康保険の医療費は年々増加しており、その中に占める調剤費（薬代）も年々増加しています。

こういった現状から市国保は、加入者の医療費負担の軽減と国保財政の健全化を図るため、「ジェネリック医薬品使用促進差額通知」の取り組みを実施します。

通知対象は、病院や薬局から薬をもらっている方（国保加入者）で、現在使用している先発医薬品（新薬）をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、負担が軽減されると見込まれる方です。

通知の届いた方は、かかりつけの医師または薬剤師にご相談ください。



《次のことに注意が必要です》

- ① 通知が届いた方、希望した方全員がジェネリック医薬品に切り替えられるものではありません。病気の内容や治療方針などにより切り替えができない場合もあります。
- ② 軽減見込額は、切り替えができた医薬品数などにより実際の軽減額と異なる場合がありますので、目安としてご確認ください。

ジェネリック医薬品とは？

ジェネリック医薬品は、新薬（先発医薬品）と同じ有効成分で製造された医薬品です。先発医薬品の特許期間が切れた後に、厚生労働大臣の承認のもとに新たに他社から製造販売され、一般的に低価格であることから、調剤費の軽減につながることを期待されます。

市の財政負担なく

「庄原市暮らしの便利帳」発行へ

総務課行政係 ☎0824-73-1123

市は、市民サービスの向上を図るため、市役所の窓口で行う手続きなどの行政情報や地域の生活情報などを掲載した冊子「庄原市暮らしの便利帳」を発行します。

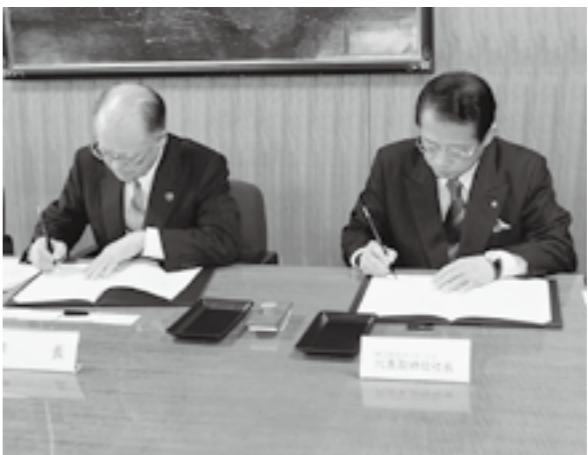
この便利帳は、市と株式会社サイネックスが共同で作成しますが、市の費用負担はありません。

この発行に向け両者は11月9日、市役所で調印式を行いました。

株式会社サイネックスの村田吉優代表取締役社長は「庄原市の発展に少しでも貢献できればうれしい」と話し、滝口季彦市長は「費用負担なく行政情報が発信できることは大変ありがたい。市の情報が掲載されるので、市民の皆さんも役立つのでは」と話していました。

今後、市からサイネックスに行政サービスの情報提供を行い、サイネックスが編集、印刷を行います。

発行は来年6月、市内の全世帯および転入者に無料で配布する予定です。



■掲載広告を募集します

編集や印刷、配布などに必要な経費は、市内の事業所や団体などから募集する広告掲載料が充てられます。

詳細は、サイネックス広島東支店（☎082-876-3971）までお尋ねください。

安心・安全な毎日のために

庄原消防署 ☎0824-72-9911
東城消防署 ☎08477-2-4005

冬季の救急事故に注意しましょう!!

《入浴事故》

冬季は、暖かい部屋から冷えた部屋に移動した時や、冷えた浴室で熱いお湯の浴槽につかったときなど、大きな温度変化により心臓や血管に負担がかかり、脳卒中や心臓発作などが発生しやすくなります。

☆対策

- 脱衣所浴室を暖房し、温度差を少なくして入浴する。
- 飲酒・食事後は入浴を控える。
- 高齢者が入浴している場合は、時々家族が声を掛けたり、様子を見に行ったりする。

もし、入浴事故が発生したら

- ① ただちに、呼吸ができる状態にしてください。
- ② 心肺停止状態で発見した場合は、素早く救急車を要請し、心肺蘇生を実施してください。

《窒息事故》

冬季は、もちをのどに詰まらせて窒息する事故が増加します。特に多いの

が、かむ力や飲みこむ力が弱くなった高齢者です。また、もちだけでなく、肉やゼリーなどでも窒息することがありますので、子どもがいるご家庭も注意が必要です。

もし、のどに詰まらせたなら

- 救急車を要請するとともに、ただちに次の方法で異物の除去を試みます。
- ① 咳をすることが可能であれば、できるだけ咳を続けさせ吐き出させます。
- ② 手の付け根で傷病者の肩甲骨の間を力強く何度も連続してたたく。

反応がない場合、反応があっても途中で反応がなくなられた場合は、心肺蘇生を実施してください。

○ 消防署出張所では、救急教室、救命講習の申し込みを随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。



9日間で6,500人

「三楽荘」が好評

東城支所地域振興室 ☎08477-2-5003

夢街道ルネサンスに認定された街道東城路を中心に開催された「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」の期間中（10月29日～11月6日）、国登録有形文化財三楽荘に約6,500人が来館しました。4月1日から11月6日までの延べ来館者数は、約12,000人になっています。

三楽荘ではこの期間、指画作家の濱田珠鳳さんの実演、浅田重子さんのパッチワーク作品などを展示。また、琴や蓄音機のコンサート、保育所園児によ



保育所園児の「藤娘」演舞

る演舞なども行われましました。来館者からは「どこか懐かしく、見ていると飽きないです。建物」建物と共に素晴らしい作品の数々に感動した」「思い入れがある三楽荘が修復され、きれいにられています。

同ギャラリーを主催した東城まちなみ保存振興会は「三楽荘は広く認識されつつあり、市民の皆さんが積極的にまちづくりに携わろうという機運も高まりつつある。地域活性化の拠点として生かすとともに、周辺施設との連携を強め、市街地だけでなく市域全体が活気づいてほしい」と話していました。

三楽荘は、市民の文化活動の支援や交流を促進することを目的の一つとしています。お気軽にご利用ください。



濱田珠鳳さんの指画実演

45歳からの挑戦 トライアスロン世界選手権大会へ出場



**トライアスロンは過酷だが
とても楽しい**

みかみ つよし 三上 強さん
口和町永田在住 会社員 47歳

口和町の三上強さんが11月5日、米国ネバダ州ヘンダーソンで開催されたトライアスロンの世界選手権大会に日本代表(年齢別男子の部)として出場しました。

競技人口が増えている

三上さんは、自宅から三次市にある勤務先まで往復50キロある道のりを6年間毎日自転車通勤を続け、週末も欠かさず100〜150キロを乗りトレニングしています。今年からは、毎朝10キロのランニングと仕事終わりに週4日ほど室内プールで1〜2時間泳ぎ、レースに備えました。

世界大会を経験した三上さんは



世界選手権での1枚

トライアスロンはこんな競技

トライアスロンは、水泳、自転車、長距離走を一度に連続して行う耐久競技です。距離に応じて複数の規格があり、短いもの(ショート・ディスタンス)でも水泳1.5キロ、自転車40キロ、長距離走10キロ。三上さんが世界大会出場を決めた五島長崎国際トライアスロン大会は、水泳3.8キロ、自転車180.2キロ、長距離走42.2キロと、特に長い距離(ロング・ディスタンス)で競うレースです。

「すばらしい大会だった」と語りつつも「レース結果には満足できなかった」と悔しさをのぞかせます。「世界大会を常に意識し挑戦していきたい。近い目標は国内の大会で優勝すること」と次の挑戦へと燃えています。

県北ではまだまだ競技人口が少ないトライアスロン。「過酷だけど本当に楽しいスポーツですよ」と笑顔で語る三上さん。トライアスロンを楽しむ人が庄原でも増えてほしいと願っています。

日々の練習でつかんだ世界切符

もともと身体を動かすことが好きだった三上さんは、これまで地域のサッカーチームに所属し汗を流していました。転機が訪れたのは40歳の時、友人から誘われて自転車競技を始めたことがきっかけでした。もともとトライアスロンにアガれがあった三上さんは、45歳でトライアスロン挑戦を決意し練習を始めました。

練習を積み重ね昨年6月、自身初となるトライアスロン大会、はつかいち横断みやじま国際パワートライアスロン大会に参加。そこでの成績と経験が「やれる」という自信につながりました。そして今年6月の世界大会選考レースとなる五島長崎国際トライアスロン大会に出場し、年齢別(45〜49歳)部門第5位に食い込み、世界への切符を手に入れました。

冬の健康

～元気に冬を過ごそう!～



保健医療課 健康推進係長
山脇明子



冬將軍の到来です!
寒い冬を元気に過ごすためのポイントをご紹介します。

冬はなんといってもかぜ、インフルエンザなどの感染症の予防が重要。

かぜ、インフルエンザの予防

昔から手洗い、うがい、マスクはかぜ予防の基本であると言われていますが、医学が進歩した現在でも最も重要な防御法であることに変わりません。かぜは咳やくしゃみだけでなく、手に付いたウイルスが口や鼻に入ることでも感染するので、まめに確実な手洗いをすることが重要です。うがいは、口やのどへのウイルスの付着を防ぎます。外出から帰った時だけでなく、1日3回程度行いましょう。マスクを着用することで、吸う空気そのものを温め加湿することができます。

かぜに負けない体づくり

食事編

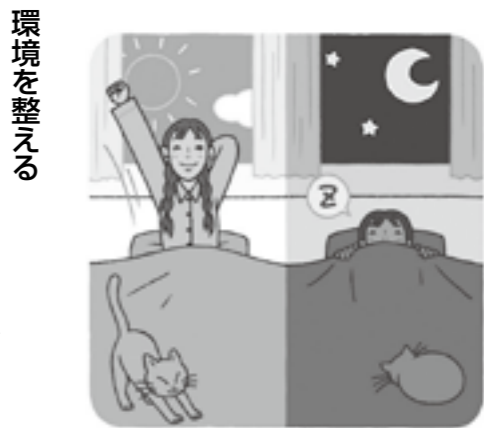
これから年末にかけて、おいしいものを食べたり、お酒を飲んだりする機会が増える時期。とはいえ、食生活のバランスには気をつけたいところです。偏らず、いろいろな食材をとることを心掛け、特にビタミンAやCを多く含む果物や野菜をとり、免疫力を高めましょう。

生活編

よく笑い、よく眠る
笑うことで体の免疫力が活性化されます。笑顔をつくるだけでも効果があると実証されています。ゆったりとした睡眠も効果的です。

ほどよく運動をする

家に閉じこもりがちで運動不足になりやすい季節ですが、免疫力を高めるためにも簡単なストレッチ体操やウォーキングをしましょう。ただし、寒い日の路面状態には気をつけ、転倒を防ぎましょう。水分を十分取ることも大切です。



環境を整える

いっき、乾燥しすぎる冬は、ウイルスにとって理想的な環境。室温は20℃前後、湿度は50〜60%以上に保つように心がけます。加湿器を使ったり、洗濯物を室内で干したりするなど工夫しましょう。また、室内ではホコリやカビも抵抗力を弱める「敵」。こまめに10分程度換気をしましょう。

衣服の調節

厚手のもの1枚より、薄手のものを重ね着の方が保温に効果的。また、首や袖、足元など衣服の開閉部をしっかりふさぐと、保温効果が高まります。

以上のことを日々の生活の中で心がけ、楽しく元気にこの冬を乗りきりましょう!



エゴマを活用した商品開発について発表する武藤徳男教授

機課
危険管理

携帯電話で緊急情報をすばやくキャッチ NTTドコモの「エリアメール」サービスを導入

市は、災害による被害を未然に防ぐため、緊急情報を携帯電話で受信できるNTTドコモ「エリアメール」サービスを導入します。

市はこれまで、避難準備情報や避難勧告などの緊急情報は、既設の防災行政無線やオフトーク通信、広報車などで周知していましたが、施設整備されていない地域や、屋外などで放送が聞こえない場所にいる人へ伝えることができない場合があります。

「エリアメール」は、気象庁が提供する緊急地震速報や、市が発信する災害・避難情報などを、NTTドコモのネットワークを通じて、一定の対象エリア（※1）に存在する利用者の携帯電話に二斉にメール配信するサービスです。エリアを限定して配信されるため回線混雑の影響を受けにくく、安定して受信できるとされています。

NTTドコモの携帯電話（※2）を所有している人であれば、申し込みは不要で、月額使用料、通信料などはかかり、対象エリア内であれば、お手持ちの携帯電話で緊急情報の受信が可能になります。

なお、このサービスは現在NTTドコモのみで行われているもので、本市での



運用開始は12月上旬を予定しています。KDDI、ソフトバンクなど他社の携帯電話会社でも同様のサービスが提供され次第導入を検討する予定です。

（※1）対象エリアは市内でNTTドコモの電波を受信できる範囲に限られ、市域外では受信できません。（市境付近では隣接自治体の発信する情報も受信する場合があります。）

（※2）エリアメール機能に対応していない機種では、このサービスは利用できません。また、一部事前に受信設定が必要となる機種があります。

企画課

研究成果を活用した 地域活性化へ期待膨らむ 庄原市県立広島大学研究開発助成事業報告会

市が助成し県立広島大学が取り組んだ研究成果を発表する「県大助成事業報告会」を10月31日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

当日は、これまで進めてきた研究のうち、平成22年度で研究期間が満了したものを中心に、各研究者が計6件を報告。事業者や市民の皆さんなど約90人が参加し、マツタケ山再生、エゴマ

を活用した商品開発、ジョイフルを中心とした商業圏域の再活性化対策など、その成果や活用方法をめぐって、活発な意見交換が行われました。

引き続き、研究成果を地域へ還元したり、事業化したりするなど、地域活性化につながる取り組みを進めていきます。

生涯学習

トップアスリートから基本技術を学ぶ レベルアップスポーツ教室

トップアスリートからスポーツ技術などを直接学ぶ、庄原市レベルアップスポーツ教室を10月15日、庄原市総合体育館で開催しました。

今回で4回目となるバレーボール教室に、市内小学生8チーム87人が参加。

講師のマツダ女子バレーボール部の選手15人からバスやレシーブの基本技術やスポーツの楽しさを学びました。参加者は「この教室で学んだことを、日々の練習に生かしたい。来年も参加したい」と話していました。



レシーブの指導を受ける参加者

性課
児童

大切な人のために知ってほしい DV基礎講座を開催

庄原市ふれあいセンターで11月7日、DV基礎講座「DVってなんだ?!」大切な人のために知っておきたいこと」を開催しました。

当日はカウンセラーの草柳和之さんが、長年DV被害者支援に携わり、多くの被害者の更生に取り組んできた経験を基に講演。DVがとて身近な問題であるにも関わらず周囲に気づかれにくいことや、被害者には自覚がないこと、当事者だけでは解決が難しいことなど事例を挙げて講演しました。

参加者からは「相手を尊重する気持ちが大切だと思った」「女性は我慢が美德と思っていたが、そうでないという気が楽になった」などの感想が寄せられました。

今年6月に実施した市民アンケートでは、女性の約5人に1人が身体への暴行を受けたことがあると答えており、この庄原市でもDVは大きな課題といえます。

今後も当事者だけでなく、地域や家族がDVについて正しく理解できるよう、出前トークや広報を通じて啓発していくとともに、悩んでいる方の相談をお受けしていきます。

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、配偶者や恋人からの暴力のことです。身体的な暴力だけでなく、精神的暴力、性的暴力、社会的暴力などもDVです。



講演する草柳和之さん

業課
農振

次代に削蹄技術の承継を 和牛削蹄研修会（入門編）を開催

県立農業技術大学校で11月17日、和牛削蹄研修会（入門編）が開催されました。

この研修会は、市・農協・県北部畜産事務所・県北部農業技術指導所が構成する「庄原市農業振興対策調整会議畜産振興対策検討班」が主催したもので、和牛飼養後継候補者に伝統技

術である削蹄技術の承継と和牛飼養に興味を持ってもらうことを目的に開催されました。

当日は、後継候補者7人のほか関係者約20人が参加し、削蹄技術の基本を学びました。講師の広島県装蹄師協会員11人の皆さんが実際に削蹄を実演。受講生は講師の指導のもと保定（牛の足の固定）の実習に挑戦しました。

同畜産振興対策検討班では、今後和牛飼養に関する研修などの取り組みを継続して実施していく予定です。興味のある方は、農業振興課畜産振興係（☎0824-1731227）まで。



※削蹄…ひづめを削ること。足の病気予防や健康の維持向上になるといわれている。

元気でハツラツプレー 第6回庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会



上野総合公園で10月29日、第6回庄原市民健康づくりグラウンドゴルフ大会が開催されました。

この日、各地域の予選を勝ち抜いた精鋭150人が集結し、早朝から気迫あふれる熱戦が繰り広げられました。

当日の大会結果は次のとおりです。



●団体戦 順位表

| | 男性の部 | 女性の部 |
|-----|----------|----------|
| 優勝 | 東城上Aチーム | 庄原女性Cチーム |
| 準優勝 | 庄原男性Dチーム | 庄原女性Aチーム |
| 第3位 | 庄原男性Bチーム | 東城東Cチーム |

●個人戦 順位表 ※敬称略

| | 男性の部 | 女性の部 |
|-----|-------------|---------------|
| 優勝 | 松浦 康郎(小奴可A) | 長谷 マスミ(庄原女性A) |
| 準優勝 | 生熊 剛士(東城上A) | 渡部 和江(庄原女性C) |
| 第3位 | 熊原 秀穂(比和男性) | 花田 弘子(東城東C) |
| 第4位 | 瀬戸 照静(八幡B) | 土居 政子(高野女性) |
| 第5位 | 藤本 武(庄原男性D) | 関 庶江(東城上C) |

ゲートボールを通じ交通安全を学ぶ 第1回東城交通安全協会ゲートボール大会



高齢者の交通事故抑止と健康維持を高めることを目的にしたゲートボール大会が9月26日、東城ふれあい村で開催されました。

東城交通安全協会が主催するこの大会に、8チーム40人が参加しました。はじめに行われた交通安全講習では、東城交番の赤間伸好所長が、高齢者の事故被害の現状と交通安全に関するポイントを分かりやすく説明。参加者は、真剣に耳を傾けました。

その後行われたゲートボールの試合は、各コートで熱戦が展開。競技終了後には全員で昼食を取りながら交流を深めました。

東城交通安全協会の長谷時男会長は「来年も引き続きこの大会を続けていきたい」と話していました。



▲試合の様子

火災予防を願いみんなで呼びかけ みどり園保育所園児がパレード



▲戸締り用心火の用心

秋の全国火災予防運動の行事の一環として11月8日、みどり園保育所園児が口和町で防火パレードを行いました。

園児30人と保護者は、備北消防マスコット「トンビ君」と一緒に、あんず薬局から口和保健センター駐車場までの約500mを約1時間かけ

て行進。園児たちは沿道のみなさんの温かい声援を受けながら、拍子木を打ち鳴らし「戸締り用心、火の用心」と元気よくパレードを行いました。

備北地区消防組合口和出張所の小林勝則所長は「火事は非常に恐ろしく、皆さんも気を付けてほしい」と園児たちに呼びかけていました。



芸術作品にうっとり 庄原市美術展覧会・しょうばら菊花展



▲きれいに仕立てられた作品

市民の芸術作品が集う第7回庄原市美術展覧会が11月3日～7日、12日～17日の期間、田園文化センターで開催されました。作品は、市内から彫塑1・工芸47・書64・日本画1・洋画23・写真30が出品。

観賞に訪れた人は「すばらしい作品ばかりで見とれて

しまう」と作品を一つ一つじっくりと眺めていました。

11月1日～14日には庄原市民会館で第24回しょうばら菊花展が開催され、個人18人と市内の4小学校から、色鮮やかな美しい菊が出品されました。

観賞に訪れた人は「ここまで立派にするには大変な苦労があったはず」と作品の出来を称えていました。



▲壁一面を覆う力作も

創立30周年を祝う 高野町食生活改善推進員連絡協議会



高野町食生活改善推進員連絡協議会の創立30周年を祝う会が10月5日、上高自治振興センターで行われました。

同会は「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、各世代に合った食育活動を推進し、健康学習や調理実習を重ねて食生活改善・運動の普及や地域住民の健康づくり活動を行っています。

当日は、東城町食生活改善推進員連絡協議会20人の出席とあわせ60人が出席しました。

「和南原銭ガールズ」の皆さんによる銭太鼓や東城町食推による「冬のメタボ」寸劇が披露され、最後はみん

なで「これから音頭」に合わせて踊りました。

高野町食生活改善推進員連絡協議会の榎英子会長は「今後もますます地域の健康づくりに頑張っていきたい」と話していました。



▲高野食推前会長堀江陽子さんへ感謝状を授与

人と自然の中で子どもの笑顔輝く 第11回こどもまつり



▲板橋一心太鼓の力強い演奏

『輪になろう 輝け笑顔! 庄原キッズは元気いっぱい!!』をテーマに10月23日、「第11回こどもまつり」が高原の家七塚で行われ、同時開催の「県立畜産技術センター一般公開」と合わせて、約4,600人の親子連れや一般市民でにぎわいました。

このイベントは、子育て世代を応援しようと、市内の各

団体で構成するこどもまつり実行委員会が企画したもので、板橋一心太鼓の力強い演奏で幕を開けました。

ステージでは、JYOJICLASSの元気あふれるヒップホップダンス、ヨーヨー名人山崎政和さんのパフォーマンスで盛り上がり、会場内では、子育てサークルやボランティアのアトラクション、保育所の保護者や地域の方による手づくり感あふれる体験コーナーで、子どもたちは元気いっぱい楽しんでいました。



▲大人気! ダンボール滑り台

初舞台で堂々と演じる 比和小学校の児童がオペラ「カルメン」に出演

REPORT 10

比和小学校で10月4日、文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」の一環として、オペラ「カルメン」の鑑賞会が行われました。

この鑑賞会に5・6年生26人を代表して10人の児童が出演。この夏から、発声、歌唱、振り付けの練習を重ねてきました。

約150人の観客が見守る中、第4幕の闘牛場前広場に集まる場面に登場。プロの役者と一緒に見事演じ切り、万雷の拍手を浴びていました。

鑑賞した子どもたちは、迫力ある演奏や歌声、舞台装置など、本物の芸術に触れた一日になりました。



▲カーテンコールで手を上げ応える児童たち

声援を力に大舞台で演奏 国民文化祭に西城琴音会出演

REPORT 11

西城町の大正琴グループ西城琴音会が10月29日・30日の2日間、京都府城陽市で開催された、第26回国民文化祭・京都2011大正琴の祭典に出演しました。

国民文化祭は、全国各地から音楽、舞踊、演劇などさまざまな文化活動を行う個人や団体が集まり、日ごろの成果や実力を披露する日本最大の文化祭で、「大正琴の祭典」には全国から50グループ約1,100人が参加しました。

西城琴音会は、昨年10月に開催された、けんみん文化祭ひろしま'10「大正琴・新舞踊の祭典」の大正琴の部で最優秀賞を受賞し、出演が決定。結成26年目で初の大舞台となりました。

出演した7人は、満員の会場で「望郷酒場」と「異邦人」を堂々と演奏しました。

西城琴音会代表伊達初恵さんは「たくさんの方、知人に応援に駆けつけてもらい、落ち着いて演奏することができた。感謝の気持ちで一杯」と感激していました。



▲演奏する西城琴音会

世界一のもちつきに長蛇の列 総領おいでん祭・庄原みよりの祭典'21

REPORT 12

2年に1度開催される総領町最大の祭り「総領おいでん祭」が10月22日・23日の2日間、田総の里スポーツ公園で開催されました。

今回は「庄原みよりの祭典'21」と合同開催され、2日で約15,000人の来場者でにぎわいました。

会場では、地元団体による「ふるさとステージ」や子どもの遊びコーナーなど多彩な催しが行われ、22日は山川豊さん、23日は水前寺清子さんによるラジオ公開録音も行われました。

23日には、「世界一のもちつき」とも呼ばれる^{いっこもち}一石餅が登場。長さ7^{メートル}の杵と直径2.2^{メートル}、高さ2^{メートル}、重さ3.5^{トンの}の白を使い、一度に150^{キログラム}のもちを約40人がかりで

つき上げました。つきあがったもちを、並んでいた見物客に無料で振る舞われました。

そのほかにも、総領町の各自治会や町内外の団体による秋の味覚、地域特産物の販売などが行われ、訪れた観光客は秋の総領町を満喫していました。



▲よいしょ！世界一のもちつき

笑顔と元気の輪が広がる 口和健康ふくし祭わいわいフェスタ

REPORT 7

口和自治振興センターで10月10日、第9回口和健康ふくし祭が開催され、約800人の来場者でにぎわいました。

「みんなで集ってワッハッハ わろ～て元気に長生きじゃ」をキャッチフレーズに、参加した町内の32団体が祭を盛り上げました。

会場では体力測定・筋力チェックなどの体験コーナー、ハンドマッサージ・整体などの癒やしコーナー、見て学ぶ展示コーナーが設置。ステージでは園児による神楽や風呂哲夫夫妻によるギター漫談などで盛り上がりました。屋外では地元の団体による味自慢の品々が並

び、恒例となった自治会対抗のフライングディスク大会も盛り上がりを見せました。

今年は新企画として、子どもたちが夢などのメッセージを書いたエコ風船200個を青空に向かって飛ばしました。参加した児童の一人は「誰かの元へ届けばうれしい」と話していました。



▲「メッセージ届け！」とエコ風船飛ばし

乳がん検診で早期発見を ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンin 東城

REPORT 8



▲ピンクリボンダンス

東城小学校グラウンドで開催された第29回ふれあい東城まつりで10月16日、乳がんの早期発見・早期治療を啓発するピンクリボンキャンペーンが行われました。

この企画は、ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンin東城実行委員会、東城保育所、東城町健康づくり推進員連絡協議会が合同で実施しました。

東城保育所の保育士が中心となり「アンパンマン体操」、「夢をかなえてドラえもん」の音楽に合わせピンクリボンダンスを披露しました。

ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンin東城実行委員会代表の近藤久子さんは「乳がんは早期に発見すれば治癒率が高い病気。早期発見のために、定期的な検診と自己検診を！」と呼びかけました。



▲東城保育所職員で結成された吹奏楽団

地域と触れ合う町並み散策に多くの 東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

REPORT 9



▲パッチワーク作品が並ぶギャラリー

10月29日から11月6日までの9日間、街道東城路(東城本町筋)で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。

城下町の佇まいを生かしたギャラリーでは、町内外の作家の温もりが感じられる手作り人形やパッチワークなどの作品、各家のお宝などが展示されました。

このほか期間中は、伝統行事「お通り」が開催されたほか、ヴィオラ・ダ・ガンバの演奏や水引細工の体験教室

などもあり、市内外から大勢の観光客でにぎわいました。訪れた人は、展示されたさまざまな作品を鑑賞しながら地域の人とのふれあいや交流も楽しみ、思い思いにまちなみを散策しました。

また、東城高校の生徒有志25人が東城応援隊を結成し、訪れた人に見どころや東城の歴史などのガイドを行いました。



▲東城応援隊によるガイド

REPORT 13

庄原市からの出品牛が好成績獲得!
広島県畜産共進会



▲垣内さんと総合首席を獲得した「かきうち7の9」

第87回広島県畜産共進会(種畜の部)が10月25日、三次家畜市場で開催されました。

庄原市からは27頭が出品され、そのうち肉用種成牛の部に垣内とみこさん(比和町)が出品した「かきうち7の9」が、総合首席となり、農林水産大臣賞を受賞しました。そのほかの出品者および成績は、次のとおりです。

■入賞順・敬称略

- 肉用種子牛の部優秀賞
立川道和(東城町)・渡鍋勉(総領町)・沖野利政(東

- 城町)・松本幸展(西城町)・藤井宏信(西城町)・名越禎一(比和町)・藤本和幸(東城町)・宮尾秀則(東城町)

- 肉用種子牛の部優良賞
永田育人(高野町)・大迫晴由(峰田町)

- 肉用種成牛の部優秀賞
垣内とみこ(比和町)・大迫晴由(峰田町)・広田美代子(比和町)・段富覚(戸郷町)・松田吉哲(七塚町)・赤木一超(東城町)庄原農協東城育成センター(東城町)

- 肉用種成牛の部優良賞
下奥朋則(高野町)・(農)有田牧場(東城町)・瀬尾俊昌(東城町)

- 乳用種1区優秀賞
庄原実業高校(西本町)・藤本雄紀(大久保町)・赤木猛(峰田町)

- 乳用種2区優秀賞
和田慎吾(東城町)・前谷隆博(一木町)・藤本雄紀(大久保町)

- 乳用種2区優良賞
赤木猛(峰田町)

REPORT 14

みんなで積み上げた「らぶれんが」
県民の森で出会いイベントが開催



▲みんなでつくった「らぶれんが」石窯

庄原市男女の出会いサポート実行委員会主催の出会いイベント「みんなでドキドキ石窯づくり～レッツつみあげ☆らぶれんが～」が9月10日、10月1日、11月5日の3日間、ひろしま県民の森で開催されました。

今回は初めての試みとして、同一メンバーで3回集まるシリーズ企画として実施。市内の独身男性と広島市などから集まった独身女性各15人が、石窯づくりやトレーニングなどを通して、2か月にわたり仲を深めていきました。

最終回の11月5日には、口和そばの会の指導のもと、新そばを使ったそば打ち体験を行い、みん

なでつくった石窯でピザを焼きました。

最後は、見事4組のカップルが成立。

主催者は、カップルになった皆さんがさらなる幸せをつかんでほしいと願っています。



▲みんなで楽しくピザづくり

生活相談

身体障害者補装具判定会

〔聴覚〕 12月15日(木)
受付 13時～14時

広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4-6-1
※1週間前までに社会福祉課障害者福祉係へ予約を。
0824-73-1210

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

●庄原地域
とき 12月20日(火)・1月17日(火)

13時30分～16時30分
●東城地域
とき 1月5日(木)

13時30分～15時30分
●総領地域
とき 1月10日(火)

9時～11時
●総領町健康福祉センター

問い合わせ

三次人権擁護委員協議会
0824-62-2572

定期巡回児童相談

北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。

●庄原地域
とき 12月15日(木)・1月19日(木)

10時～15時
●東城地域
とき 12月16日(金)・1月27日(金)

10時～15時
●東城支所
※1週間前までに女性児童課子育て支援係へ予約を。
0824-73-0051

13時30分～16時30分
●「庄原地域」
とき 1月16日(月)

13時30分～16時30分
●「庄原地域」
とき 1月16日(月)

※事前予約もできます。

問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係
0824-73-1210

健康相談

広島県北部保健所(三次市十日市東)で実施する健康相談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。

○心の健康相談
ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその家族からの相談に応じます。

とき 12月20日(火)
13時～14時30分
○エイズ検査相談
検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせできます。相談は随時受け付けています。

とき 1月11日(水)
13時～15時
申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課
0824-63-5181

無料法律相談
広島弁護士会三次地区会の弁護士が法律相談に応じます。

とき 12月17日(土)
13時～17時

募集

「庄原文芸」40号作品募集

庄原文芸では次のとおり作品を募集しますので、ふるって応募ください。

応募資格

庄原市文化協会加盟のサークルに所属している方、市内に在住・通勤・通学している方。

募集作品

詩、短歌、俳句・川柳、写真、絵、小説・随筆・創作・ノンフィクション

出稿料

原稿用紙1枚につき1千500円、以後1枚増すごとに500円、21枚目からは1枚増すごとに1千円を加算。

応募締め切り

1月31日(火)
問い合わせ
庄原市文化協会庄原文芸係
林 武志
0824-72-3286

「信頼のきずな」未来を拓く運動展開中

万一の災害に備えて、お気軽にご相談ください

建物共済 住まいる わずかな掛金で大きな補償

火災共済 火災・落雷などの事故を補償

農機具共済 のうきくん 農機具に安心の補償を

火災共済 格納中の事故等を補償

総合共済 稼働中の事故から自然災害まで補償

NOSAI北部 広島県北部農業共済組合 〒729-6201 三次市和知町360-5 TEL 0824(66)3111 FAX 0824(66)3130

消防職員採用試験

備北地区消防組合では、消防職員を募集します。
募集人員 若干名
受験資格 昭和62年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人。学歴および性別は問いません。
試験日および試験場所
 (第1次試験) 1月22日(日) みよしまちづくりセンター
 (第2次試験) 2月予定
試験内容
 (第1次試験) 一般教養、作文、消防適性検査A
 (第2次試験) 面接、体力検査
受付期間
 12月12日(月)～1月10日(火)
申し込み・問い合わせ
 〒728-0012
 三次市十日市中3丁目1番21号
 備北地区消防組合消防本部 総務課
 ☎0824-63-9573

西城温水プール水夢親子体操教室開催

冬も明るい水夢のフィットネススタジオで、心地よい汗を流してみませんか? 子ども

1万6千部
広告料金 1枠1万円
募集期間
 12月22日(木)まで
 ※応募多数の場合は、市内の方を優先し、先着順とします。
申し込み・問い合わせ
 財政課理財係
 ☎0824-73-1202

その他

償却資産の申告は1月31日までに

固定資産税の課税対象となるものには、土地や家屋のほか償却資産があります。会社や個人で工場や商店などを経営している人で、その事業のために用いる機械・器具・備品などが課税の対象となります。

このような償却資産を所有する会社や個人は、毎年1月1日現在の所有状況を、1月31日までに償却資産が所在する市町村へ申告することになります。期限までに忘れず申告してください。ただし、次の場合には固定資産税は課税されません。

もの可能性を広げ、保護者の健康維持と体力アップ、ダイエットにも役立つメニューをインストラクターが楽しく指導します。

12月 21日
 1月 11日・18日・25日
 いずれも水曜日です。
 10時～11時30分
 (受付9時30分)
 ※1回のみ参加も可。
 ※12月21日の終了後、参加者交流会を開催します。

西城温水プール水夢
対象 2歳以上就学前の幼児と保護者(祖父母なども可)
内容 リズムに合わせて行う体操マツト、バランス運動
 ※参加費はいりませんが、保護者のみ入館料300円が必要です。
 ※託児があります。希望する方は事前に申し込んでください。

申し込み方法
 各開催日の1週間前までに電話で申し込んでください。
申し込み・問い合わせ
 西城教育室
 ☎0824-82-2445

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

| 募集種目 | 受付期間 | 試験日程 | 応募資格など |
|--------------|-------------|--------------------|-------------------------|
| 高等工科学校生徒(推薦) | 12月16日(金)まで | 1月7日～9日までの間の指定する1日 | 17歳未満の男子で、中学校卒業生(見込み含む) |
| 高等工科学校生徒(一般) | 1月6日(金)まで | 1月14日(土) | |

問い合わせ 自衛隊三次地域事務所 ☎0824-62-0350
 総務課行政係 ☎0824-73-1123

ごみ収集カレンダーへ広告を掲載しませんか?

市が作成する平成24年度版の「ごみ収集カレンダー」への広告掲載を募集します。
募集枠 12枠
規格 縦3センチ×横25センチ(見開きカレンダー)
配布部数 市内全世帯へ約

広島県立三次看護専門学校入学生募集

次のとおり学生を募集します。

| 学 科 | 募集人員 | 受験資格 | 修業年限 | 受付期間 | 試験日 |
|--------|------|--|------|------------------------------------|---------------|
| 第一看護学科 | 60人 | 高等学校卒業生(平成24年3月卒業見込みの者を含む)、またはこれと同等以上の学力があると認められる者 | 3年 | 1/4(水)～13(金) (郵送の場合は1月13日の消印有効) | 1/26(木)・27(金) |
| 第二看護学科 | 20人 | 准看護師の免許取得後、3年以上業務に従事しているもの、もしくは准看護師の免許取得者(平成24年3月免許取得見込みの者を含む)で、高等学校卒業生(平成24年3月卒業見込みの者を含む)、または高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる者 | 2年 | | 1/25(水) |

試験会場および問い合わせ 広島県立三次看護専門学校 〒728-0023 三次市東屋屋町字敦盛 518-1 ☎0824-62-5141

▼耐用年数1年未満または取得価額10万円未満の償却資産で、一時に損金または必要な経費に算入した場合

▼取得価額が20万円未満の償却資産を、3年間で一括して損金または必要な経費として処理した場合(一括償却)

▼償却資産の課税標準額の合計額が150万円未満である場合 など
問い合わせ
 税務課資産税係
 ☎0824-73-1144

受けていますか? 障害者控除認定

年末調整や確定申告の時期が近づいてきました。税法上の所得控除を受けることができる障害者控除対象者認定書の申請はお済みですか。

65歳以上の介護を必要とする方で、身体障害者等に準じる方や「6カ月以上寝たきり状態にある方は、早めに申請してください。」
対象者
 次のア・イのいずれも該当し、かつ①②③④のうちいずれかの状態の方。

ア 他の制度により税法上の特別障害者控除を受けていない方
 イ 65歳以上の方

① 認知症状のある方、または認知症と診断されている方
 ② 屋内生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出できない方
 ③ 屋内生活は何らかの介助が必要で、日中もベッドなどでの生活が主体である方
 ④ 生活全般で介助が必要な方(ほぼ寝たきり状態の方)

※身体障害者福祉法などに基づく障害認定と介護保険法に基づく要介護認定は、認定基準が異なるため、要介護認定の要介護度が高くても、「障害者控除対象者認定書」が交付されない場合があります。
申請に必要な書類
 ① 障害者控除対象者認定申請書
 ② 医師の診断書または民生委員の意見書(要介護認定を受けている方は不要です)
 ※書類は高齢者福祉課介護保険係または各支所市民生活室にあります。

問い合わせ
 高齢者福祉課介護保険係
 ☎0824-73-1167
 または各支所市民生活室

広域観光情報誌 vol.15 「備北のかがやき」 秋冬編

庄原市三次市の広域観光に取り組み備北観光ネットワーク協議会が発行する「備北のかがやき」は、身近な備北の満載のパンフレットです。現在、このパンフレット掲載の92の協賛店舗によるスタンプリーを開催しています。皆さん、パンフレットを手に備北地域を巡回し、新たな発見をしてみてはいかがでしょうか。スタンプを集めて応募すると抽選でプレゼントが当たります。

また、来春発行予定のvol.16「備北のかがやき」春夏編へ掲載する協賛店を募集しています。
 詳しくは、お問い合わせください。
問い合わせ
 備北観光ネットワーク協議会事務局
 ☎0824-44-3855

住友不動産の“新築そっくりさん”
古民家に新たな息吹、美しき再生。
 住友不動産 新築そっくりさん 広島東営業所
 〒739-0011 広島市西条本町7-29(林ビル1階)
 TEL082-431-3525 FAX082-423-1751
 住宅エコポイント制度が再開します
 フリーダイヤルでお気軽にお問い合わせ下さい。
 ☎0120-356-218
 ホームページからも資料の請求ができます。
 新築そっくりさん で 検索 http://www.sokkuri3.com/

一人でも悩まないで まず相談してください。
業務のご案内
 ●不動産の名義変更 ●成年後見
 ●相続登記・遺言 ●会社の登記
 ●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等
 ●詳しくはホームページに書いています。
 司法書士 飯田 一生
 庄原 司法書士
 広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
 〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナッシュB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

「この社会あなたの税がいきっている」
 —インターネットで申告・納税できる—
e-Tax (国税電子申告・納税システム) **利用推進運動中**
 http://www.e-tax.nta.go.jp
社団法人 庄原法人会
 めざまし ぶらやま 法人会
 よき経営者による 正しい納税で 企業の繁栄と社会への貢献
 〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)
 TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)
 HP: http://www10.ocn.ne.jp/~shk/

農業委員選挙人名簿
登録申請書の提出を

この申請書は、10アール以上の農地を耕作している農家の皆さんに、毎年提出をお願いしています。

12月20日ごろに申請書を郵送しますので、早めに提出してください。

また、12月26日までに用紙が届かないなど、ご不明な点がありましたら、農業委員会事務局までお問い合わせください。

提出方法 同封の返信用封筒で農業委員会へ返送してください。

提出期限 1月10日(火)

問い合わせ

農業委員会事務局
0824-73-1133
または各支所地域振興室・産業建設室

家屋の取壊しや
新増築の届け出を!!

固定資産税は、その年の1月1日現在に、固定資産(土地、家屋、償却資産)を所有している方に課税される税金です。
家屋を取り壊された場合

や、災害などによって家屋が滅失した場合には、「家屋異動申告書」を税務課または最寄りの支所税務担当係に提出してください。(様式は税務課または支所に備え付けています。)

取壊しまたは滅失した家屋の固定資産税は、翌年度から課税されません。ただし、住宅を取り壊した場合においては、土地に適用されている「住宅用地に対する課税標準の特例」がはずれるため、翌年度から税額が上がる可能性があります。

また、家屋を新築・増築した場合や、用途を変更された場合(たとえば、住宅から店舗へ、店舗から倉庫へ変更)も、あわせて連絡をお願いします。木造なのか非木造の別もお知らせください。
問い合わせ
税務課資産税係
0824-73-1144

障害福祉サービス『同行
援護』がはじまりました

平成23年10月1日に障害者自立支援法が一部改正され、新たな障害福祉サービスとして『同行援護』が創設さ

れました。

同行援護は「視覚障害により、移動が著しく困難な障害者」の方に、次のような外出時の支援を行うものです。

●外出先での代筆・代読などの視覚的な情報支援

●外出の際および外出先で必要な移動の援護

●外出先での排泄・食事の介護

●サービスの提供は事業所のヘルパーによって行われます。

【対象者】
市内に住所がある視覚障害者で、一定の基準(※)を満たした者。

※市職員が聴き取り調査を行い判定します。

※障害程度区分の認定が必要な場合があります。

※身体障害者手帳をお持ちではない夜盲、網膜色素変性症などの方は、別に医師の意見書が必要な場合があります。

【利用者負担額】
非課税世帯は無料、課税世帯はサービス利用料の1割を負担します。課税状況により、負担額の上限月額が設けられています。

【手続きに必要なもの】
●身体障害者手帳(所持者のみ)

イベント
「ハンドメイドキャンドル」

記念写真のスポットとして大人気のハートのイルミネーション。大きなハートがすてきな写真のフレームになります。

「冬の火花」

12月11日(日)、23日(祝) 19時30分(約5分間)
中入口会場、北入口会場の見通しの良い場所からご覧ください。

■年末年始の開園日

年内は30日(木)まで開園します。31日(土)、1月1日(祝)は休園日です。
新年は1月2日(火)から開園します。



「ウインターイルミネーション2011」

12月29日(木)まで毎日点灯!

【開園時間】 9時30分~21時
(期間中の月曜日は14時開園)
【点灯時間】 17時30分~21時

問い合わせ 備北公園管理センター
0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

備北丘陵公園
だより



前回到続いて主なイルミネーション、イベントを紹介いたします。

●中入口会場
「宙(そら)の駅」

星座が光る星空に向けて出発する銀河鉄道の駅を表現しました。駅には列車が

止まっていて、ホームから客車に入ることができます。子どもに大人気!

「ハートリング」

記念写真のスポットとして大人気のハートのイルミネーション。大きなハートがすてきな写真のフレームになります。

「銀河鉄道の軌跡」

銀河鉄道が走る宇宙を表現しており、今年は大きな星がアクセント。星空の旅をお楽しみください。

●北入口会場
「サイクリング発電体験」

タンデム(二人乗り)自転車を用いて発電した電気で、LEDで描いたメッセージがらぼろろ、日本!」を灯します。

「小惑星探査機はやぶさ」

数々の困難を技術と知恵で克服した「はやぶさ」ミッション。感動と勇気の象徴をイルミネーションで再現しました。

「日本列島」

LEDで描かれた日本列島が浮かび上がります。「庄

市内の主な施設 年末年始の業務状況

年末年始の業務予定は、次の表の通りです。■の部分(黒)が休業日となりますのでご確認ください。
なお、「出生」、「死亡」、「婚姻」など戸籍に関する届け出や、埋火葬、斎場使用の許可手続きなどは、休み中でも取り扱います。詳しくは市民生活課までお問い合わせください。

| | 12月 | 12月 | | | | 1月 | | | | | |
|-------------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|
| | | 26(月) | 27(火) | 28(水) | 29(木) | 30(金) | 31(土) | 1(日) | 2(月) | 3(火) | 4(水) |
| 市役所(本庁・各支所) | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 田園文化センター | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 総合体育館 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| ふれあいセンター | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 市民会館 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 西城市民病院 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 時悠館 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| ごみ処理 | 収集 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 備北クリーンセンター | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | リサイクルプラザ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 東城クリーンセンター | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 東城資源ごみ集積所 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

■が休業日※その他の施設については、直接各施設へお問い合わせください。

あっぱれ
庄原あっぱれ

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

●全国大会

全日本卓球選手権大会
(1月17日~22日・東京体育館)

●男子ジュニアの部
中田 一也(近大附属福山高2年・高町)

全日本学生剣道優勝大会
(10月23日・日本武道館)

●男子団体戦
大塚 将也(福山平成大4)

年・東城町)

●県大会

広島県高等学校駅伝競走大会(女子)
(11月6日・みよし運動公園陸上競技場)

優勝 酒井はるか(世羅高2年・東本町)

※該当する方の情報は情報政策課広報広聴係

0824-73-1159
までお寄せください。

広告 自宅葬儀は、庄原せしモニー葬祭サービスにお任せください

庄原せしモニー 葬祭サービス
国土交通省陸運局許可 中国自貨第448号
24時間寝台搬送
自宅葬儀施工
会葬品・仕上げ膳
0824-72-1417

●ギフト商品(茶の子・記念品・香典返し・お中元)
●慶弔事料理(法要料理・祝い料理・会議用料理)

株 高木屋 0120-130-603

人の動き

平成23年10月末日現在

【住民基本台帳登録人口】

人口 39,942人(前年比-770人)
 男 18,998人(前年比-348人)
 女 20,944人(前年比-422人)
 世帯数 15,940世帯(前年比-151世帯)

【外国人登録人口】

○人口 312人(前年比-13人)

ふれあい市長室の日程

☎情報政策課広報広聴係 ☎0824-73-1159

とき 1月28日(土)9時~12時

ところ 東城支所

※公務により実施できない場合もあります。

※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。

市役所ロビーコンサート

☎生涯学習課文化振興係 ☎0824-73-1189

とき 12月26日(月)12時15分~55分

ところ 市役所1階市民ホール

出演者 あおぞら金管合奏団

市内のほとんどの保育所・小学校でも演奏し、その都度子どもたちを感動の渦に巻き込んでいます。

市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

※残高確認も忘れないでください。

●税務課収納係 ☎0824-73-1145

●下水道課管理係 ☎0824-73-1175

●水道課庶務係 ☎0824-73-1197

広報日記

さとやま博は、広報紙でも開幕前から特集を組み、開幕以降は毎月シリーズで掲載してきましたが、読者の皆さんにどこまで伝えられたのだろうかという思いがあります。「何をやっているのかわからない」という声には、広報紙がその役目を果たせていない、と自分の力不足と物事を伝えることの難しさを改めて感じています。今回の特集はいかがでしたか?ご意見ご感想をお待ちしています。○

犬・猫の引き取り

☎環境政策課 ☎0824-72-1398

12月・1月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

| | 引き取り日 | 時間 | 場所 |
|------|--------------------------|-------------|---------------|
| 庄原地域 | 毎月第2・4水曜日 12月14日・21日※ | 9:00~9:30 | 市役所車庫 |
| 東城地域 | 1月11日・25日 | 10:40~11:10 | 東城支所 正面駐車場 |

※12月の引き取りは年末にかかるため、第4水曜日を**第3水曜日(21日)**に変更しています。

※飼い犬・猫の引き取りは有料です。

男女共同参画コーナー

☎女性児童課 ☎0824-73-1243

ジェンダー・ギャップ指数(男女平等指数) 日本は135カ国中98位

世界経済フォーラムは、各国における男女差を測る「ジェンダー・ギャップ指数」を先月発表しました。このランキングで、日本は135カ国中98位と大変低く、先進主要国の中では最低水準となっています。

賃金格差や、管理職、国会議員の女性割合が少ないことなど、経済・政治分野での男女間格差が大きく、女性の能力が生かされていないと評価されています。

| ランク | 国名 | 指数を算出するためのデータ (※各分野の男女比、格差) |
|------|--------|--|
| 1位 | アイスランド | 経済分野:労働力率、賃金格差、管理職比率 教育分野:識字率、初等・中等・高等教育就学率 政治分野:国会議員、閣僚の存在年数 保健分野:健康、平均寿命 など |
| 2位 | ノルウェー | |
| 3位 | フィンランド | |
| 17位 | アメリカ | |
| 61位 | 中国 | |
| 98位 | 日本 | |
| 107位 | 韓国 | |

2011 ジェンダーギャップ指数 ランキング(135カ国)

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか?
あなたの不安な気持ちをお話ください。
 <<家族や友人が心配な方もご相談できます。>>

庄原市役所 女性児童課 男女共同参画係

☎0824-73-1243(月~金 9:00~17:00 年末年始・祝日除く)

| | | |
|----------------|----------------------------|--|
| 広島県西部こども家庭センター | ☎082-254-0391 | 月~金 10:00~17:00 |
| 広島県北部こども家庭センター | 休日夜間電話相談 ☎082-254-0399 | 月~金 17:00~20:00 土日祝 10:00~17:00 |
| | ☎0824-63-5181 (代)内線2313 | 月~金 10:00~17:00 |

口和郷土資料館

☎0824-87-2230

開館日 月・木・土 9時~17時



大きさ:93cm(高さ)、95cm(幅)、55cm(奥行)、43kg(重さ)

カラーテレビ受像機①

これは昭和51年に、日本ビクター(株)で製造された「シャドウマスク式カラーテレビジョン受像機(以下カラーテレビ)」です。回路にはトランジスターやICを使って、20型シャドウマスク式のブラウン管にきれいな画像を映します。受信チャンネルはVHF(1~12ch)とUHF(13~62ch)

で、それぞれのつまみを回して選局します。キャビネットは、スピーカー2個を内蔵した大型の木製コンソールです。

日本では昭和28年に白黒のテレビ放送が開始され、カラーテレビ放送は昭和31年からの試験放送を経て、昭和35年9月に「NTSC方式」で本放送が始まりました。当時のカラーテレビは多くの真空管を使い、21型で約50万円と大変高価でしたが、昭和39年の東京オリンピックからは量産されて安くなり、放送時間も増えて普及していきます。

その後画質が向上し、BSやハイビジョン放送も始まるなど高度情報化時代へと向かいます。またカラーテレビは、日本を代表する高性能な電子工業製品として大量に輸出され、日本の経済発展に大きく寄与しました。現在は、奥行き大きなブラウン管から、薄型の液晶やプラズマによる高画質・大画面へと変わっています。

58年間親しまれたアナログテレビ放送は、7月24日正午に終了し、地上デジタルテレビ放送(地デジ)に切り替わりました。

当館では、「地デジ」をアナログ放送チャンネル(2・10・15ch)に変えていますので、今まで同様に初期の白黒やカラーテレビでアナログ放送が見られます。地デジの「技術の原点」を、いま一度見直してください。

休日診療のご案内

12月・1月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

| 月日 | 診療所名 | 電話番号 |
|-----------|---------|--------------|
| 12月11日(日) | 河本医院 | 0824-75-0311 |
| 18日(日) | 笠間医院 | 0824-72-0535 |
| 23日(金) | 田淵医院 | 0824-72-3900 |
| 25日(日) | 藤野医院 | 0824-72-4646 |
| 31日(土) | 牧原医院 | 0824-72-0057 |
| 1月1日(日) | 河本医院 | 0824-75-0311 |
| 2日(月) | 庄原赤十字病院 | 0824-72-3111 |
| 3日(火) | 笠間医院 | 0824-72-0535 |
| 8日(日) | 毛利医院 | 0824-72-2863 |
| 9日(月) | 戸谷医院 | 0824-72-3131 |

●東城地域

| 月日 | 診療所名 | 電話番号 |
|-----------|---------|--------------|
| 12月11日(日) | こぶしの里病院 | 08477-2-5255 |
| 18日(日) | 細川医院 | 08477-2-0054 |
| 23日(金) | 東城病院 | 08477-2-2150 |
| 25日(日) | 日伝医院 | 08477-2-2180 |
| 29日(木) | こぶしの里病院 | 08477-2-5255 |
| 30日(金) | 東城病院 | 08477-2-2150 |
| 31日(土) | 三上クリニック | 08477-2-1151 |
| 1月1日(日) | 瀬尾医院 | 08477-2-0023 |
| 2日(月) | こぶしの里病院 | 08477-2-5255 |
| 3日(火) | 細川医院 | 08477-2-0054 |
| 8日(日) | 東城病院 | 08477-2-2150 |
| 9日(月) | 日伝医院 | 08477-2-2180 |

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX

★1月の展示案内★

世界児童画ライブラリー作品展

8日(日)~10日(火)10時~17時

☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453

☎商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178

※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はかかりません。

食彩館しょうばら

☎ゆめさくら ☎0824-75-4411

【12月~1月のイベント情報】

▶歳末感謝祭

とき 12月23日(金)~25日(日)

各種イベント開催!

▶ゆめさくら講座

○草木染め教室

「レーヨンストールの多色染め」

とき 1月16日(月)朝の部9時~12時

昼の部13時30分~15時30分

参加費 4,900円 定員 各10人

▶展示・その他

○手仕事・里山の干支展

とき 12月16日(金)~1月29日(日)

【年末年始の営業日】

臨時営業日 12月27日(火)

休館日 12月31日(土)~1月3日(火)

初売り 1月4日(水)

【営業時間の変更】

閉館時間:18時→17時

1月4日~3月末日まで

(朝どり市は通常通り16時)

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

出店者募集中!あなたのお店を開こう。

毎月20日が出店申込締め切りです。

申し込みは 交流サロンラッキー

☎0824-72-0075

1月 とき 1月9日(月)10時~14時

ところ 中本町商店街周辺

(のぼりが目印)

詳しくはHPで<http://kunchi-ichi.main.jp>



Vol.31 備後庄原駅裏のキバナコスモス



秋の庄原市は、備北丘陵公園のコスモスが代表的な観光シーズンとなります。今年、しようばら花会議主催の「さとやまオーブンガーデン」も開催され、延べ15,000人の方が個人の庭を楽しまれたそうです。そんな中で、JR備後庄原駅の裏にも、オレンジや黄色の「キバナコスモス」が、悠然と咲き誇る隠れスポットを発見しました。せっかくなので、芸備線の時刻表でディーゼル車が走る時間を確認して、撮影してみました。

立花 敏之(三日市町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501

庄原市中本町一丁目10番1号

庄原市情報政策課広報係

☎0824-73-1159

メール koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原産の食材を扱うお店を応援します！



おいしいものは 庄原市地産地消推進店 地元にある!!

スナックテラス PONY

所 西本町 2-19-1 (ジョイフルながえ内)
☎ 0824-72-4385
営 9:30 ~ 20:00
休 第2火曜日

登録 第2号店



取り扱う市内産食材
キャベツ・ねぎ・米

★店主の下田廣海さんに聞きました★

当店は開店以来 32 年、今考えてみると膨大な量の野菜を使ってきました。地元の生産者と契約し、キャベツ、米、ねぎ、その他の野菜類を仕入れています。

●お店のこだわりは？

お好み焼き専門店と思われがちですが、ラーメンやアイスクリームなど、色々楽しんでもらえるメニューをそろえています。『おいしく早く』をモットーに地元産の食材を使いながら、ファストフード店としてやっていきたいです。

●皆さんへと言

昨年、庄原焼きというお好み焼きができました。なぜ米？と不思議に思われるかもしれませんが、地元のおいしい米と野菜を使い『庄原を元気にしよう!!』と始まった庄原焼きですので、よろしく願います。



里山の雪山をイメージした人気の庄原焼き

『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。

詳しくは、保健医療課健康推進係 (☎0824-73-1255) まで。